無産階級戦闘雑誌

進め

福田狂二編輯

第五年三月第三號

定價一部拾錢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

誌代一年分拂込者にマルクス大寫眞を無代で贈呈する

■本號一瞥■

□鬪爭原理の把握……卷頭言
□時事論評……同人
□社會行動に於ける二つの方向……本莊可宗
□除名成金……細野三千雄
□借家人運動の本質及び方針確立と組織の完成……布施辰治
□政治運動の二樣相……澤井龍之助
□軍隊は資本家の番犬に非らず……吉田正之

全土戰報

□壓迫の爆發……戸野元
□地主を葬れ……島根英
□革命の第一歩……三木田善太郎
□ドロ幹の惡辣……道田久
□戰ふ吾等……大野信明
□水電と農村疲弊……野原爲之
□必勝を期す爭議……東京中野支局
□新聞不買同盟……加藤一郎
□咄！罪人製造……中山學堂
□田吾作の辨……前田泰夫
□大牟田雜信……大牟田支局
□勞農黨を排せ……矢口生

□一勞働者の人生觀……上田一雄
□税金不納同盟を起せ！……吉田源藏
□日本進化の過現未……工藤勝市
□組合運動の新陣列……皆川利吉
□殖民政策裏面研究……金熙明
□自作農創定と社會主義……神庭仲之介
□英國の勞働運動……淺野研眞
□殺されに行つた娘達……行村義雄

陸離たる光彩を放つ本社出版物

第二十版
マルクス寫眞集
內容
マルクスの生家、マルクス夫人、マルクスの原稿、マルクスの博士の免狀、マルクスの署名、マルクスの旅行免狀、ロンドン亡命中のマルクス、ロンドンに於けるマルクスの住宅、資本論執筆時代のマルクス、晩年のマルクス、マルクスの墓の十一枚。四六倍版アート紙、印刷鮮明、極めて美麗。
本社編纂　一部五拾錢　送料四錢

第二十版
社會思想家寫眞集
內容
サンシモン、フーリエ、オーエン、プルードン、マルクス、エンゲルス、ウキルヘルム・リープクネヒト、カール・リープクネヒト、クロポトキン、ラツサール、レーニン、トロツキーの拾三枚。四六倍版アート紙印刷鮮明、極めて美麗たり、無產階級の永久に記念すべきものである。
本社編纂　一部五拾錢　送料四錢

第拾[illegible]版
日本勞働運動小史
內容
明治[illegible]正を[illegible]じての日本に於ける勞働者解放運動の全分野に渉つて、細大漏らさず僅か百三十餘頁の內に收めた手頃なパンフレットである。而も卷末に附せられたる統計、文獻、年表は用意周到な貴重なるもの。苟も日本プロレタリア運動の史的背景を知らんとする者は必ず一本を備ふべきだ！
淺野研眞述　定價五拾錢　送料四錢

再版
生きる權利と儲ける權利
內容
生ける權利だ、人間として生を享けた以上は何人と雖も生きる權利がある、然るに資本主義は平等に與へられたる無產階級の權利を剝奪してゐる、本書は不合理なる現制度を解剖して、人間權の奪還を叫び、無產者の進路を示せる絶好の社會主義入門書である、眞理を掴まんとする無產青年は讀め！
吉田源藏著　定價拾錢　送料二錢

再版
農民諸君に與ふ
內容
橫暴例ふるにものなき地主の虐殺的搾取に、憤激極く所を知らざる農民諸君！農村の疲弊、田地の荒廢、青年の離村、而して諸君の經濟的窮迫等々の、所謂農村問題に對し、蹶然擡頭せる近代社會思想は何を以つて之を解決せんとするか？農民諸君は挙つて、本書の示す社會主義陣營へ來たれ！
神庭仲之介著　定價拾錢　送料二錢

吾等の主張

一、資本主義制度を解剖して大衆を啓蒙す、
一、社會思想を解說して非搾取の社會を建設す、
一、解放團體の分裂を防止して全無產階級の團結を企圖す、
一、社會運動を鞭韃して戰鬪精神を振作す、
一、無產階級の擡頭を妨害するものを討滅す、

第五年・戰鬪・進め・雜誌・第三號

鬪爭原理の把握

■現下、日本無產階級運動は、組合主義的經濟鬪爭より、全面的政治鬪爭への飛躍的進展によつて、人類歷史の車輛を急速に回轉しつゝある、されば、日本無產階級當面の鬪爭標的は全階級的進軍による、既成政治勢力の倒滅であらねばならぬ。然れども、無產階級の政治鬪爭は、其れが解放行程に於ける、一方法論としての役割りを演ずるのみであつて、政治鬪爭による既成勢力への肉迫は無產階級の原則的な、最高標的にあらざることは云ふ迄もない。無產階級の原則的な、最高標的は、×××を基調とする眞正マルキシズムによる資本主義の倒壞にあつて、單なる一方法論以上に出ない政治鬪爭に、其れが解放の全的要素を繫ぐべくもない。無產階級解放運動の根本基調は終始一貫眞正マルキシズムの上に發展せしめねばならぬ事は、敢えて呶々を要しない所である。

■然るに輓近、日本無產政黨の凡ては無產階級解放の根本基調たるべき、眞正マルキシズムの精神より遠ざからんとせる事實を見る。即ち勞働農民黨はレーニニズムの變態的實際派であり、社會民衆黨は極右翼リベツ化の危機を胎むものであり、日本勞農黨亦眞正マルキシズム的精神を有するや否やを決定し難い。叙上の如く、無產階級の政黨が、其の原則的根本基調たるべき、眞正マルキシズムの精神より、相隔たることの甚だしきを知る。

■吾等は、×××な眞正マルキシズムを除外して、無產階級の解放はあり得ないと信ずる」從つて、無產階級の政治鬪爭も、此の精神の上に展開せしめずして、發展を期する事は不可能であると斷言する。此の精神を、無產階級の政治鬪爭上に、如何にして展開せしむべきかゞ今日の吾等に與へられたる、最大の問題であらねばならぬ、無產階級の政治鬪爭の基本的精神を眞正マルキシズムの上に發展せしめよ！無產階級の解放に之れを措いて他に、成立すべき何ものもない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時事評論

同人

普選の脅威

——醜惡を曝露した妥協政治——

今期議會は夙に解散の豫想を以つて、一般民衆は囑望しつゝあつた折柄、案の定洞ケ峠に勢觀望しつゝ日和見に吸々たりし政友本黨床次竹次郎は、從來の憲本妥協の精神を裏切り、急激其の態度を豹變して「朴烈怪寫眞事件」及び「松島僞證事件」を戰爭好餌として、政友會總裁出中義一と提携し、直路、府政倒壞の總攻擊に轉向した。

吾等は右の持說等は全然問題にしなかつたのであるが「議會解散」の結果を招來する手段として暗に此の行動を待つてゐたのだ。ところが、豈圖らんや、舊臘一月二十一日より二十二日にかけて停會するか、しないかの矢先、突如「三黨首妥協」が成立した。是を目の當りに見せ付けられた國民は振り上げた鐵拳のやり場に困つた樣なものであつた。徹底せる馬鹿らしさに腹も立たないと云ふ事は斯かる場合に始めて妥當である。

吾等は既成ブルジョア政黨の醜惡陰稿なる事は今更此處に呶々を要しなくとも判かり切つた事ではあるが此の度の「三黨首妥協」程又馬鹿々々しくも鮮かに此のブルジョア議會のからくりを見せて呉れたのも稀である。

然も此の「三黨首妥協」は大臣室の密室内に私議されて成立したものである。憲政會總裁若槻禮次郎は政敵田中義一と床次竹次郎のフンダクリ合ひを天下白晝公然と行つてゐる。床次はどちらへも秋波を送り遂に大臣室に於ける會合によつて所謂「三黨首妥協」が成立したのである。此の會合によつて胎れた所謂「深甚なる考慮」は三黨首のフャケタ頭の中に、色とりどりに映つてゐる事であらう。果して此の「深甚なる考慮」の正體が何ものであるかは蓋し、興味の有する所である。

此の「妥協」に出喰して今更乍ら「國民の選良」であると自惚れつゝある所の「代議士」にも御禮を云はねばならぬ。即ち今回、日本議會の初にして最後？であらう所の、此の密會政治を見せつけられし「議員を粧飾」せんと訓命された所の此の「選良」達は、今や特に議會解散を惧へ乍ら覺悟してゐた矢先、停會即「妥協」と來たものだからホット溜息の洩れ涙に咽んだのも強ち無理もないではないか。

此處に遺憾なく、流石ブルジョア選良の代議士共であると、吾々無産大衆は今やハッキリと認識せずには居られない。惟ふに之れ正に、無産大衆の政治行動への驀進に依つて既成ブルジョアジー共が「普選」のドタン場に於て其の斷末魔の苦悶からでも、偸安を貪らんが爲、齊しく「解散」の爆彈を恐怖して餘りある所の證據であると云はねばならぬ。

農民組合の分裂

——輿論の無視は遂に大衆を失ふ——

共産黨一派の「如何にして鬪ひとるべきか」—の小兒病的乃至は衒學的左翼進出論に煽動され、勞働農民黨を唯一の階級的政黨と誤信せる日本農民組合の幹部等は、彼等の所謂大衆を裏切る反動政黨たる日本勞農黨に加盟したる淺沼、三宅、須永其他の諸氏を、組合の統制を紊す者との理由の下に之れを除名した。

然しながら、單に日本勞農黨へ加盟したからと云ふ丈では斷じて除名の理由になり得ない。

何故かなれば、山川均氏の口吻ではないが、政治戦線の混亂せる今日に如何なる組合にある者と雖、自ら是と信ずる政黨——無産政黨である以上は！——加入するの自由があらねばならぬ。然るに農民組合の幹部は、同氏等の日勞黨加入を以つて直ちに、組合の統制を紊すものとして、除名するが如きは、少なくとも、階級的精神を有するものゝ爲すべからざることでなければならぬ。

惟ふに、彼等の除名理由とする所の「統制を紊す」と云ふのは、表面の理由であつて、除名しなければならない眞の理由は、明かに、日勞黨の有する大衆獲得性を怖れて、將來

に於ける分解の危險を未然に妨がんとする杞憂の現はれに外ならない。
今回の分裂によつて日本農民組合の、數的勢力の著しく減殺されたことは蔽ふべからざる事實である。加ふるに、將來更らに同勞黨へ加盟せんとの意志を有する者の多數あると云ふ事實は、農民組合をして、漸次、崩滅の淵へ導きつゝあるやうなものである。現幹部等は將來に於いても依然勞農黨を支持するであらうが、其れに對して吾等は次の如く斷言する。即ち農民組合は共產黨の餌食ー—既に今日では俎上に載せられ解剖の第一メスは下されてゐる——となり、遂には農民大衆の信賴を失ふに至るであらう事を。
全國の農民諸君！諸君は共產黨の俎上に載せられたる日本農民組合を救へ！農民組合を大衆の手に奪還せよ！
最後に、現幹部等は、淺沼氏等を除名するに當つて、同氏等を、農民組合の攪亂者、又は大衆を裏切る反動主義者、日勞黨幹部と云ふが如き極端なる罵言を以つて攻擊してゐるが、それは寧ろ、汝自身に與へらるべき代名詞であることを知るべきである。

大學教授と政治

——坊ちやん教授の醜態——

資本主義の下に於ては、凡ては資本家の手中にあるのだ。たとへ、其れが教育機關であらうと、今更ら何等驚くべき事實ではない。然るに何事だ、此のあひだの大山事件は！
大山氏の如きは、全く吾々はお坊ちやん教授だと云ひたい。深窓に育つた先生さまが、ごこまで世の濁波を横切ることが出來るかは見物だ。
大學教授が、その象牙の塔の中から政治批判をする時には、時には仲々味なことを云ふものだ。然し彼が一度び街頭に立つた時は、もう一度イロハから初める覺悟が必要だ。
大山、安部、北澤などの諸氏は共に早大教授にして、其々色彩は異にするも、いはゆる無產政黨の指導的地位にゐる連中だ。大山氏が未練さを殘して追はれたことは、賣名には可なり役立つたかも知れぬが、片腹いたいことだ。次に安部氏はその狸親父式な老巧さを以て、片足をかけて、講師としての地位を保留して置くと云ふ。それも良からう。そうして見ると、大學はいざと云ふときのかくれ場所でもあるらしい。
然し北澤氏に至つてはどうだ。學校の理事者に對して、伺ひ書を出して、農民黨ならば其れにも及ばずとの、お宣託をいただいたと云ふではないか。はらわた迄もリベツ化し、走狗化したる北澤氏の如きは、今後は社會問題を論ずる資格をさへ疑はれねばならぬ。
氏には殉教者態度は、もはや、全然之を見ることが出來なくはないか、吾々は走狗は之をたほさねばならぬ！

銀行の合同化

——金融資本の集積——

資本主義の末路は、資本主義自身の內にある。資本主義の發展段階は金融資本主義を伴ひ來つてゐる。現代日本の資本主義は、今や此の路を一心に走りつゝあると云つて良い。
最近の新聞紙の報ずる所によれば第一銀行と東海銀行は合同をした。大藏省では震災手形の整理に關連して、二流、三流どころの銀行を整理し合同する方針をとりつゝある。これなどは露骨な資本主義的財政策の然らしむるところであるが、然し事態如何ともすることは出來ないのだ。
小企業は次第に大企業に併呑されて行くより外に仕方が無いのだ。これ資本主義の特性であり、資本主義凋落の必然性である。
尙は政府は本議會に震災手形兩法律案を提出してゐるが、これも大體議會通過確實となつてゐるので、大藏省は震災手形補償令の滿期たる本年九月末日を滿たずして、大體二流三流銀行の整理合同を實現すべく最近關係者に其々意向を傳ふるところがあつたと云ふ。而して其の具體的方法は、まづ各銀行個別に對し、適當と認むる條件をもつて其他の一流銀行に併合せしむるにある。かくて九月以前には、是等二三流銀行の整理合同か完結せられるであらうと。
吾々は此のことを、單にブルジョアジーのことと他見してゐてはならない。斯る企業の集中の實現と、金融資本の擡頭政治の進展とは、そが軈て猛烈なる資本の攻勢を準備するものであるからだ。最近に至つては日本のブルジョアも、所謂「資本家武裝論」を提唱し初めて居るではないか！
吾々は常にブルジョアジーの動靜を觀察し、此に對抗するの戰術を用ひねばならぬ。日本の資本主義は、今や國際的に金融資本主義時代を進みつゝあることは、全く事實となつてゐる。備へよ、同志諸君！

× × × ×

社會行動に於ける二つの方向

本莊可宗

一

社會運動に於て、根底的な差異を持つてゐながら表面は同じやうな主張を掲げて行動する二群がある。

一方は勞働者の生活に解放せしめ向上せしめて、共働共産の社會を作りあげやうと意圖する一群であつて他方は現在の社會組織そのものに對する否認を發點として實動する一群である。共に資本家的財産—資本が利益を中心として動いて居り、生産手段が一般人の手にあることを否認して行動してゐるのではあるが、その根本的態度に至つてはかなりの相違を以て動いてゐるのである。

ここに或る社會運動家がゐる。彼は斯ういふことを言つてゐる。「資本の增殖が若し勞働力の搾取のみに依るものならば勞働者は永久に天日を見ることは出來ないだらう。「中略」併し幸にも私は資本は生産設備の改良と整頓とから生ずるものであることを深く主張仕樣とする者である—そして彼は「主人の居ない」社會を組織しやうと宣傳する。消費者組合の資本增殖の理法をし例へば、英國のロチデール町の消費者の共働組織運動なぞを引例して—說明し主張する。一大政治組織を結成して各人がその社會組織の細胞になるやうなことは、前門の虎を遁して後門の狼に身をやるやうなものだといふ。彼は「政治は如何なる意味に於ても支配だから反對であるといふ

二

他方の社會行動者は、之れとは益々別な條に立つ。第一に、前者のいふ資本の增殖は勞働力の搾取以外に、あるないと思ふとは大間違ひである生産設備の改良と整頓とによつて（勞働力の搾取なしに）資本が增殖出來るなぞといふのは、資本家側の常套的な僞瞞的議論であつて、眞の資本增殖と勞働者解放、はたゞ組織の變更によつてのみ可能であると信ずる、である。之れなしには如何なる生産設備の改良も整頓も無駄である。たゞ資本家的搾取の冠面を變えて、新しい僞瞞の下に、永久に勞働者をして束縛の下に置くものであると將へるのである。何よりも勞働者は新しい組織を意欲せねばならぬ。たゞ眼前の甘い餌（多くの改良案や協調策）にかゝつて—それは右の肩に負はされた重荷を左の肩に轉ずる位のところに留まる術策であるし之れに乘つてはならない。現在の組織そのものが永久に勞働者を搾取するやうに出來てゐるのだから、と斯く論ずる。そして「政治は支配であると言つたところが、勞働者に善き支配ならば擧手せねばならない。抑も組織（社會）といふものそのものが何等かの意味で強制である從て支配であるのだから、之を否認するならば人間は社會を否認せねばならない。各人が細胞でないやうな組合か社會が何處にある？「——そして勞働階級の政治的出動を根本的企圖とする。見よ、ロチデールの消費組合だつて、遂にスタンダード石油會社のトラスト組織と覇を爭ふ大資本主義組織ではないか。デモクラシイの米國の帝國主義化と同じことである。フオード會社は內部で社會主義政策るやるのと同じである。消費組合主義とは言はゞ資本主義的社會主義とでも稱すべきものに過ぎない。吾々は企業が資本が絕對に必要であることは知る者であるが、その爲めに資本主義的經營が必要であることを認める者ではない。消費組合的團結とは。資本主義的經營を、集團的に（之れまでのは個人的であつたか）やつてゆくといふだけである。それでは本質が資本主義的意識から脫却するのではない。社會主義的認識に到達したのではない。所謂資本主義的形式は變らない、たゞ內容を變へただけである。

それでは、國家社會主義否國家資本主義の少さいもの、小さい任意團結の組合資本主義に留まるものではないか！勞働者を解放するものは、そして全人類の世界を形成するものは、「人類歷史の前史」を葬るものは、消費組合的運動ではなく、人類愛や人道主義の倫理でもなく、社會正義や社會連帶の觀念でもなく、全く別な一角、階級意識の發生と、政治的行動への進展と新組織への目的意識とである

三

私は二群の社會行動者の見地を際間見た。そのいづれを取るかは諸君の注意である。

現在、地方の農民は、心中本當に政黨なぞに關しては無關心であつて、たゞ立法禁止の徹底とか耕作權の確立とかを與へてくれるならば何の政黨でも宜いといふ有樣である。即ち政治的自覺にまで未だ生產してゐない。現在の政治組織では彼等の生活の眞個の打開、は百年河靖を待つやうなものであるとの（現在組織內の）絕望に來てゐない。それを自覺してゐない。都會勞働者でも爾うである。目前、飯が食へるか如何かの問題の方が緊急である。

その點で經濟的利益を中心にして活動してゐる消費組合、または賃金問題を主にして團結する勞働組合、の運動の方が有力である。

然しそれはたゞ現狀である。勞働階級運動の最後の行動目標がそこに留まるといふ義ではない。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

「除名成金」

細野三千雄

昨年十二月初旬日本勞働總同盟は麻生藤岡望月加藤石山其他計十二名の幹部を除名し、二ヶ月を距てゝ今年二月初旬日本農民組合は淺沼三宅須永行政吉田其他計十二名の幹部を敢然除名した。共にその理由とする處は統制を紊亂すると云ふに在るが、その規約を無視した擧であること、組合の大分裂を結果したことは兩者共に同じである。異なる處は被除名者が前者總同盟に於ては、極左翼共產黨と呼ばれ後者農民組合に於ては、極右反動ダラ幹と貶せられたことだけである。惟ふに此等の批評は夫々その立場にあるものとして當然の言ひ分ではあらうが、これを彼等の所謂極左共產分子と極反動分子との水火二分子が何等の思想的矛盾不統一なくして日本勞農黨に渾然統合されてゐる儼然たる事實の前に照らす時、それは最早批評ではなくして單なる得手勝手な自己辯護の爲めの妄言であるに過ぎない事が判るのである。私は然し彼等總同盟の老衰病者の老ひの繰り言や、彼等農民組合の小兒病者の鼻たれ小僧のにくまれ口にも比すべき惡口雜言を一々取り上げてゐる暇はない。

總て多衆が集團を構成せる場合、其構成員の行動がその團體の規制を紊す時、これに臨むに「除名」といふ制裁を以てする事は多くの團體に見る所である。誠に或る團體員の行動が、その團體の名譽を毀損するとか、その團體の體面を汚損するとか、その團體の利益を阻害損傷するとか云ふ樣な場合には必要なる當然の制裁方法であらう。即ちその被除名者の我執の行動と、その他の大多數の團體員の意思行動との間に、截然たる差異あるに至つた場合に、これを外部的に、形式的に宣示する方法である。從つて、除名の行はるゝには既に內部的に實質的に少數者の我執の行動が大多數の組合員の意思行動と明白に相背反せし事を必要な前提條件とする。これなくして行はるゝ處の除名は形式的に、又對外的には「除名」の名を冠するとも、實質的には、內部的には、一部少數の我執者を大衆より隔離する處の眞の除名ではなくして、大衆と大衆とを眞二つに絕縁せしむる「分裂」であると云はねばならぬ。

日本勞働總同盟は麻生、望月以下十二名の幹部を除名するに際し、此等一部の異端者を組合大衆より隔離するが爲めと稱し、日本農民組合も須永三宅其他十二人を除名するに際し少數の此等反動幹部を農民大衆より排擊するが爲めに企てられたと云ふ。もし此等十數氏の意思行動が組合大衆の意思行動と背反せりとするならば、その除名は正に名實相伴ふものと云ふことが出來るであらう。然るに日本勞働總同盟は除名によつてその大半の組合員を失ふことを予知し、又日本農民組合は「量に於て減少するであらう」（昭和二年二月四—除名理由書）これこれ又豫定してゐるのである。即ち此等被除名者十數氏の意思行動が組合大衆の夫れと背反する處が、反つて組合大衆の支持を得つゝある事を除名者自身が誰よりも先づ判然と自覺認識してゐた事である。即ち此の除名たる、形式的に（除名）の假面を冠するも、その實、少數の被除名者を組合大衆から隔離することを得ず、反つて實質的には組合の（分裂）を策したものと云ふことが出來るのである。かくして先づ第一段に於て實質的にこの除名は不當である。

今回の除名が實質上不當なる事前述の如くであるが、然らば形式上何等缺くる所がなかつたと云ひ得るであらうか否々。

麻生望月氏等の日本勞農黨計畫の發表さるゝや、總同盟關東同盟は急遽幹部會を開催して日勞黨關係者中の總同盟中央委員二氏に對し、その中央委員たることを解任し、尙後任中央委員を選任したと云ふ。而して總同盟規約によれば中央委員の選任解任は總同盟年次大會にのみ委ねられた事項であり、一關東同盟には何等の權限がないと聞いてゐる。麻生望月氏等の除名はかゝる變則なる中央委員會によつて決定されたものである。

日本農民組合中央常任委員會は、組合大會を目捷の前に控へながら、三宅須永氏等を規約第三十六條によつて除名した。然るに規約同條によれば除名は大會又は中央委員會にのみ任せられてゐる。除名の權限なき常任委員會が三宅須永等を規約第三十六條によつて除名したといふ通告は結局意味をなさない無效のものとなるのである。

尤も緊急の場合臨機に勝手な處置をとり得るであらうが變則は變則である。そしてかかる變則手段を執らねばならなかつたところに除名者側の狼狽さ加減もうかがはれるのである。組合の規約は組合の憲法であり組合大衆の意思によつて定められたものである此規約にして無視されんか、その組合には最早民主的立憲的自治は失はれ。少數幹部の偏執的獨裁が跋扈することとなり、其組合は其少數者に（乘つ取られた）と云はねばならぬ。今回の除名は斯くして形式的にも違法であつたのである。

日本農民組合のなしたる除名は、尙其除名理由の中に—それは、彼等の一たび口を開けば、（今や世界の資本主義は……）と云つた樣な例の文調で書かれたものではあるが

――除名者と被除名者とは運動方計が根本的に異なれることを裸けてゐる。そして被除名者側の運動方針は大衆の自然成長性追に從するが故に不可なりと云ふのである。思ふに總同盟のしたる除名も日本農民組合のなしたる除名もその根本的理由は運動方針の差異あるによるのであつて、此眞相を躊躇なく公表した點に於て日本農民組合の方が、かの眞相を糊塗して單に泥の投げ付けに終始してゐる總同盟の除名理由の發表ぶりよりも男らしくもあり、正直でもあり、それだけ若くもある。然し除名手續が實質的にも形式的にも不當なること上述の如くであつて、然かもかかる情勢に在つて除名といふが如き一の懲戒手段をとつた事は、他を傷付けることによつて自からの非を蔽はんとする奸策の現はれであることは兩者相同じきものである。だが大衆は何日までも此奸策の前に盲目ではない。大衆は反つて除名者側少數幹部の非を見破り猛然立つて此等少數專制者を排撃するの擧に出づるのである。

　他を傷付けんために投げた礫は反つて自己の頭上に落下するのである。形式的に除名したる者は反つて實質的には大衆から除名されるといふ結果に歸着するのである。近來獨り總同盟と云はず農民組合と云はず、隨處に天に向つて唾する此種の「除名」の頻々として行はるるを見、且彼等除名者側少數の幹部の得々たる現狀と、やがて大衆に遺棄さるるであらう結末の慘條さを想ふて此れを比照する時、恰かも成金の道樂息子が得意の絶頂より失意のドン底に落魄してその短かき人生を終る喜悲劇一卷物のキネマを見るが如く、一掬同情の涙を注ぐと共に彼等少數獨裁幹部によつて死期を早められた日本の代表的勞農大團體の短かくも華かなりしその生涯を記念するため、その死后の墓誌銘として（除名成金）の名を掲げして此稿を終らう。

×　×　×　×　×

獄中隨筆

蔦生

今日も金さんはなぐられたのだ、

金さんは泣いてゐた、先刻も金さんは、土工部屋の隅でしみじみと話したつけ、

「朝鮮人は、何故にくいかな――、」

俺は金さんのもらした言葉が今も思ひ出されてならぬ、

「朝鮮人は何故にくひのかな」

此の一言を俺は何度くりかへしたことであらう、

仕事のやり方が悪いと云つてあの監督からなぐられたのは金さんだけではない俺ばかりでもなかつた、

然し同じなぐられるにしてもなぐられる金さんの心には其がどんな意味に解釋されたであらう、

資本家共か鮮人と云へば不逞鮮人のやうに解釋するが其程まで彼等の恐れる鮮人の思想を惡化せしめたのは誰の罪だらうか、

俺はあの純眞な若い金さんが鬼のやうな非道な監督になぐられる度毎に、恐るべき暗い結果を豫想せずにはゐられなかつた、

金さんは良い人だ、俺は金さんなる人格を通じて、朝鮮人なる人を思ふ時一種のなつかしささへ感じる、然るに其の純なるべき金さんさへ、心の中は既に恐しい復讐心にみたされてゐるのだ、今日も金さんはあの監督と奴のあとを、つるばしをもつて追はうとした、其をからくもおれいとめたのだ、

あの鬼のやうな監督を俺は彼を何度さし殺してやらうと思つたことだらう、勿論―俺は其の次に當然俺にせまつてくる運命をも覺悟したことさへあつた、

然し俺は毛頭くらひ影を恐れたことはなかつた、否むしろ俺は喜んだのだ、何故ならば、俺は用するに長短の如何によらず俺の人生なるものを有意義にさへ費し得れば、其で俺の、現實に於ける、義務は、はたし得らるゝわけだ、

　俺が此の現實から葬り去らるゝとしても其のあとに生れ出てゐるものは俺達よわき者の一歩進ふだ幸福ではないか

然らば小さき俺一人の代價として得らるゝものは多人數の喜ではないか、

不平にみちて犬共に頭をさげてゐて其處に何の俺等の人生の意義があるか自己の自由を無視して横暴なる奴等に服從するとは其は恥ずべきものだ其で不平々として人生を終るとも其で我々の人生は有意義に送り得たとは云へない、

●

然し俺達の本能として、俺達は食はなければならぬ、

食ふ爲には彼等犬にも頭をさげなければならぬのだ、何と云ふ弱い俺等だらう、然し俺達はあくまで弱くはないのだ

●

水道工事で掘さけられた穴を前にして、夜業は特別急しかつた金さんは何かの失策で又も文句を云はれた、

日曾不平にみちてゐる金さんは默してはゐなかつた、

口論は戰はされた、

然し金さんは、到底老獪な彼鬼監督の敵ではなかつた、

「馬鹿野郎」、彼は、たちまち金さんを、地にたたきつけた、

「朝鮮人のくせに生意氣だ」、

彼は動きも得ない金さんを見下して、あざけつた、

（四谷にて）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

借家人運動の本質及
方針確立と組織の完成

布施辰治

□

無産階級解放運動を政治的經濟的の日常鬪爭に進出すべき借家人運動は、消費經濟方面の資本主義的搾取に抗爭する無産階級借家人に依りて、其の陣容を構成しなければならない、正々堂々たる解放運動戰線の團體だと信んじます

□

左樣した信念の下に私の大正九年以來主唱提撕した東京中心の借家人運動は、今や、漸く、我國全無産階級運動の一潮流を形成し、昨年夏以來、私の處に全國各地に無産階級借家人運動の團體結成と聯絡統一を交渉相談して來る向きの甚だ多い事は、斯ふした借家人運動の主唱提撕を私に決意せしめた老社會主義者にして借家人運動の先行の鬪士たりし亡き大阪の逸見直造君に感謝しなければなります

□

尚ほ、私は此の頃或る人から既に三十年の昔老社會主義者片山潜氏は亡き逸見君よりも早く借家人運動に手を染めた事があると云ふ話を聞きました。

私は、敢へて片山氏が三十年の昔、左樣した見解で借家人運動に手を染めた事があるからと云ふ譯では無く、亦、其の事を初めから知つて居たのでも無く、私は我國無産階級解放運動戰線として、深く心に痛感する所ある借家人運動に就て、大正九年以來主唱提撕の努力を獻身して居るのであります。

□

一般無産階級借家人大衆の理解を辨じ易いように、左に事例を擧けて、私の進展更生を努力せんとする借家人運動は、消費經濟方面の資本主義的搾取に抗爭する借家人運動の必要を說述し、無産階級解放運動戰線の正々堂々たる無産階級借家人團體を結成しなければ爲らない所以を解說します。

生産經濟方面の資本主義的掠奪に抗爭する無産階級解放運動としての勞働運動で、賃銀値上げの勞働爭議に成功し一日二圓の日給が二圓五十錢と爲り六十圓の月給が七十五圓に爲つても、消費經濟の方面で、勞働賃銀が高く爲つた丈け物價が高くなり、之まで六十圓の月收で一杯一杯の生活をして居た勞働者が、食ふ物も着る物も、住む家も從來通りで、些かの改善も向上も見ず舊態依然の生活に月收七十五圓を右から左へ消費しなければならないと云ふ事でしたら、六十圓の月收を、生産經濟方面の資本主義的掠奪に抗爭して改善せられた七十五圓の月收は、只だ徒らに勞働者の懷中を通過する丈けで、世俗に云ふ、網の目の勞働運動だと云ふ事に爲りませう。

□

以上の簡單な設例の解說を味つて見た丈けでも、無産階級解放運動は、單り、生産經濟方面の勞働組合ばかりで無く、消費經濟方面の資本主義的搾取に抗爭する借家人運動の重大任務を有する無産階級借家人團體の陣營と結成しなければ爲らない必要のある事は、何人でも理解すると、同時に、之を承諾して與れるでせう

□

其處で、私は、無産階級の實際生活中、其の消費經濟方面に於て、資本主義的搾取を受くる最大の消費は何であるかと云ふと、それは家賃であります社會局其の他の調査した勞働者の生活費中、收入の一割五分乃至四割を固定消費するものは家賃であります。然かも、其の家賃を資本主義的經濟關係の生産消費兩方面から解剖して見ると、こんな不合理な生産方面からの掠奪も無ければ、消費方面から見た搾取もありません。

□

茲に、一個の實質的設例を借りて來ます、私の最近接濟した事件で、間口四間、奥行五間半、瓦葺二階家一棟、階下二十二坪、階上十八坪、合計四十坪の家屋建築を請負ふた大工さんの請負時代が、坪六十圓の二千四百圓でした。然るに建築完成早く賣買せられた家屋時價は三千八百圓でした故に、此の建築請負代金と、賣買時價とは差額千四百圓は其の家屋を建築生産した大工等勞働者の勞力を、生産經濟の分配に於て掠奪したものだと云ふて良いでせう。

□

其處が、其の家屋を賃貸するに當つての消費經濟方面に於ける搾取がどうなつて居るかと云ふに、三千八百圓で買ひ取つた家屋を借家人に賃貸した借家條件は、權利金が二千圓で、敷金が五百圓です、もうこれ丈けで三千八百圓を投資した元金の過半が回收せられて未回收の元金投資は僅かに一千三百圓だけしか殘つて居りません、然るに、其の家賃は實に驚くべく、坪三圓五十錢當りの月百四十圓で年に積算すると一千六百八十圓でした、私から言はせれば、搾取せらるゝ借家人も借家人ですが、搾取せらるゝ借家人は其の家賃の生産價格も、賣買價格も知らずに搾取せられるのだから仕方がないとした、一切の事情經過を知り盡して居ながら之を搾取した家主の貪婪我慾は眞に憎むべき消費經濟方面に於ける無産階級借

家人からの資本主義的搾取であります。

□

何故なら、此の家屋を借り受けて居住商賣する家屋の價格は、前米解設した生產方面から見て二千四百圓丈けのものであります、從つて、之を借家居住する無產階級借家人は夫れに相當した丈けの家賃を拂ふのが消費經濟方面から見た家賃の場度でなければ爲りません、にも拘らず、家屋の建築者は、既に其の買賣で高價な商品として一千四百圓を不當に利得し、更らに其の賣得者たる家主は前當な取引に投資せられた買取代金の過半の權利金敷金の名目で回收した上に、未回收の投資一千三百圓に對して一年一千六百八十圓と云ふ家賃を取り上げるようとする事は、餘りに非道い搾取だからであります。そして、前當高價な其の家賃は無產階級借家人の日日夜夜孜々營々の勞作に收入した血と汗との結晶だと云ふ事を考へたら、資本主義的經濟下に苦しむ無產階級は、生產經濟方面に於ては其の大部分を掠奪せられて尠く分配せられ、消費經濟の方面では尠なく、分配せられたものの大部分を搾取せられて多く消費せしめらるゝ事に爲るのであります

□

斯ふした私共無產階級の實際生活中消費經濟方面の資本主義的搾取に抗爭する借家人運動か無產階級解放運動の重大任務を有する事は何人も理解し、且つ承認せらるゝ所であると同時に、無產階級借家人團體を結成して、正々堂々の陣容を解放運動の戰線に進出すべきものである事も亦、何人も之を理解し、且つ之を承認するでせう。

然かも、左樣した借家人運動は、何故に今日迄容易に起らなかつたか、起つても、ほんとうの無產階級解放運動の一陣容として容易に認められなかつたかと、云ふに、共處には重大な一つの原因があつた事を見逃しても不可なければ、又、之を押し隱すべきものでもないと信じます。

□

私はほんとうに、正直に過去前後六年間に於ける借家人運動其のまゝの事實と感慨とを告白します。夫れは、理論上や本質上から考察した借家人運動が如何に正々堂々たる無產階級解放運動の一陣容を結成すべきものであつても。

其の運動指標は爭議と名付くるよりも、事件と名付くる方が相應はしい。

個々の家主對借家人間に折衝する個々の借家爭議を以て大部分の內容として居ります

從つて、借家人運動に參加するものの槪容外見は、運動者だか、事件屋だかを疑議せられますと、同時に、內部的に云ふても、亦、事件屋に墮落する危險が餘りに多くあり過ぎます。

斯ふした槪略外見の事件屋疑議と、內部的事件屋墮落の危險は何人と云へども餘り好んで近寄り度くない借家人運動だつたのであります。

□

之れ蓋し、借家人運動は、既に、疾く、正々堂々たる無產階級解放運動の一陣容を結成すべきものであり乍ら、容易に何人も之を結定せず、亦之に健鬪せざりし所以でせうが

しかし乍ら、槪容外見或種の疑議と內容的に見た墮落の危險を愼戒しなければ爲らないものは、無產階級解放運動との陣容にも鬪爭にもあると信じます。

之れ私共が、假令、どのように槪容外見の疑議と內部的墮落の危險を戒愼すべきものにならせよ、消費經濟方面の資本主義的搾取に抗爭する、無產階級解放運動としての陣容を結成しなければ、必要を愼思信念して、戒愼と省とに依ら及はずながらの微力を、借家人運動に獻身して來た所以であります。

處が、矢張り何人が見ても特に解放運動精神の弛緩の危味を大いに戒愼しなければならない、借家人運動に參加するものの中には、餘程運動精神の堅實確固たるものでも、動もすれば、眞の運動精神を弛緩して、純然たる事件屋に爲つて仕舞ふ恐れがあります況んや、運動精神の餘りに堅固ならずして、一時の生活の爲めや一時の人氣のためのみに來り投じたものに至つては素より沙汰の限りであります

□

茲で、私は、借家人運動方針確立の爲めに、簡單にでも事件屋とは何ぞや！と云ふ事を解說して置きますが、無產階級借家人の借家爭議は、現に其の搾取に泣く者は勿論、假りに相當の費用を負擔し得る借家人であつても、前に解說した通り、資本主義的の掠奪と搾取とに苦しめられて居るのであるから、苟くも、運動精神の鋭敏な解放運動者の借家人の運動としては、成るべく左樣した借家人の費用負擔を重からしめないようにして借家爭議個々の鬪爭に努力して全無產階級借家人の福祉を進展するのが當然であります

然るに、事件屋と云ふのは借家爭議、其のものゝ解決よりも、相當に費用を負擔し得る借家人は勿論、どんなに悲慘な借家人であらうか、金の工夫調達し得る限りはイクラでも多くの費用を負擔させて金の取れる限り、イクラでも多くの手數報酬などを取り上げようとして居るものを指すのであります

□

尙、念の爲めに一言斷つて置きますが、と云ふて、私は眞の借家人運動者は借家人が自ら進んで苦しくなくとも出した金をも取つて不可ないと云ふのではありません、亦、眞に理解ある寄附の意味で出した金を取つてはならないと云ふ潔癖を強かるものでもありません、自ら進んで少とも苦しくなく、借家人の出した金や、眞に理解ある寄附の意味で出された金は之を取つても構はないと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

□

が、しかし乍ら、假令、借家人の自ら進んで、少しく苦しくなし出した金を、眞に理解ある寄附の意味で出した金を取つたのでも、其の取つた金に就て、之は自分の手腕に感謝して出した金だから自分が使ふに何の仔細があるものか？と云ふて、飲んだり、遊んだりする事は、眞の借家人運動者の斷じて爲す可からざる戒愼の禁忌であります。

□

何故なら、金を取る點に無理が無くとも、其の取つた金を解放運動の進展に役立たせないで、自分の爲めに飲んだり、遊んだりするものは、眞の借家人運動精神を弛緩した一種の事件屋だからであります。

□

ですから、眞の借家人運動者として、眞の清純を保有しようとするには、なるべく金を取らずに、個々、借家爭議の闘爭に努力して、全無產階級借家人の爲に働く事を心掛けなければ爲りません、特に借家爭議本來の特質としては借家爭議に苦しむ全借家人の爲めに、イクラ澤山の金を取り得た好解決と喜んでも、それは、決して家主の懐から出るのでは無くして後借家人の懐から搾取せらるゝ事になる場合が多い――例へば、甲前借家人の借家爭議に就て、一ケ月の立退料を取つて解決した家屋を、乙後人が借り入れる時には必ず千五百圓の權利金を取られることに爲るのだから――先づ食はすには働けず、自由に活動するには、飛んで歩かなければならない、と云ふ限度の生活費と、運動費以上の費用を取らない方針を以て、家主から立退料を取る事より以上に、全無產階級借家人に有利有効な闘爭の好解決を期さなければならないものです。

が、それでも、墮落し易いものは借家人運動です、個々の家主と、個々借家人の借家爭議を解決する所の折衝は、事實上の事件屋的なものですから、自然、運動精神が事件屋に墮落し掛けるのも致方のない事でせう、と云ふて、全無產階級解放運動の消費經濟方面から、資本主義的搾取に抗爭する、無產階級借家人の團體を組織して、正々堂々の一陣容と進出すべき借家人運動を拋棄閑却すべきもので無い事は言ふまでもありません。

□

其處に、私の愼思した、借家人運動新陣容の構成は眞の大衆的自治運動として、此の運動に參加する者の運動精神と弛緩墮落する危險の無い方針の確立であります。

極めて簡單に其の理由から解說しますが、之迄の借家人運動に、運動精神と弛緩させる墮落の危險が多かつたのは、借家人自身が借家爭議の解決に自任自治しないで、他人に依頼したから起つたのであります、故に、私は、今後の借家人運動を顧問本位も其の運動方針と解決方法とを指示して爭議干係し借家人の自任自治本位にして行き度いと思ふ、斯樣する事に依りて消費經濟方面の資本主義的搾取に抗爭する家賃議を、大衆的自治運動に進出せしむる階級闘爭の運動方針を確立したい、と同時に借家爭議當事者のみで闘爭解決を自任自治し得ないものは同番地、同丁目、同町內、同區內と云ふ順序に組織せられた委員の大衆的自治運動とする組織を完成して、所謂、事件屋的爭議解決擔當の專門家を作らない樣に、且つ、之に頼らない樣にしたいと思ふ。

□

でも、尚ほ且つ、借家爭議の闘爭解決を自任自治し得ない借家人があつて、どうしても借家爭議解決の交渉を引き受けても良いと云ふ借家人運動者に依頼しようと云ふ事であり、又、之を引き受けようとする借家人運動者があつたら、夫れは、眞の自治的大衆の運動方針を確立して居る借家人運動とは異つた別個獨立の組織として置く事にしたい、そして、其の方の組織、借家人運動者が幸に、堅實強固に運動に依りて、其の精神を操守弛緩頽落せず、最も、嚴粛眞摯に正々堂々と進出し得れば、夫れに越した慶事は無く、亦假りに不幸其の方の借家人運動者が萬一の運動精神を弛緩墮落するやうな事があつても、眞の自治大衆的借家人運動は斷じて眞の運動精神を弛緩落せず正々堂々と無產階級解放運動の戰線を進出する事は出來ると信じます。

□

依つて、私は、此處に從來の借家爭議事件を本位に置いた、借家人同盟以上に解說した趣意の借家人運動に更生進展せしめる爲めに、私は、從來の借家人同盟とは今後一切の同人借家人の係を斷絶して、消費經濟方面の資本主義的搾取を抗爭する借家人運動を主唱提撕した、私の責任を完ふする事に可能の全力を傾盡します。

□

最後に、辯護士としての私は、今後の借家人運動に對して如何なる態度を執るかを一言して置きます。

私は、現に辯護士として、隨分數多き民刑事件を日本全國の內地は勿論、遠く滿鮮臺灣の法廷に取扱つて居りますが、受任の稱號に依りて、自ら其の取扱態度に、二種の峻

社　告

吾が『進め』は、大正十二年創刊以來、既に五年の齢を重ねた。無產階級雜誌にして五年の歴史を有するものゝ多くあるを見ない。依つて吾が社は、次號の四月號を第五周年記念號として、頁數を倍の六十四頁にし、堂々たる雄姿を以つて諸君に見えんとする。全國の同志諸君は、論文、創作、詩歌、全土戰報等の闘爭意識に燃ゆる、活氣潑溂たる原稿を投ぜよ。締切日、三月八日。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

別を誤らない。即ち、其の一に、無産階級解放運動の途上の民刑事件として、飽迄闘争しなければ為らないものは、無産階級解放運動の闘争として、現行の法律が之を認めなくとも、亦、現在の裁判が之を許さなくとも、社会的正義を強調する階級闘争の為に之を取扱ひ、そして、不合理の法律を糺弾する、と同時に、不当な現在の裁判を弾劾する法廷に最も勇敢な闘争を則して居るのでありますが、借家人運動同種の法廷事件に就ては、今後も、亦、私の活動の許す限り、同様の態度を執つて之を取扱ひ度いと思ふて居ります、其の二は、直接無産階級解放運動途上の闘争に干係の遠い民刑法廷事件をどうしても、依頼したいと云ふものの取扱は、現行の法律で之を認め、且つ、現在の裁判でも之を許すと確信する事件のみに限り、辯護士として之を取扱ふことを従前よりもハッキリする事にします。

□

但し、此の際特に声明して置きますが、私か、現に一方辯護士として、時に、直接無産階級解放運動に干係の遠い法廷民刑事件を取扱ふのは甚た心苦しとする所ではありますけれども、私が、本来の使命の解放運動戦線の参加に任する態度は、断じて之を誤らず如何に現行の法律が之を認め且つ、現在の裁判か之を許すと確信した事件でも、有産者から無産者に係る弱い者苛め事件は、絶対に之を取扱ひません、殊に小作争議に就ては小作人の地主と抗争する事件、借家争議に就ては、借家人の家主と抗争する事件は素より之を取扱ひますが、地主から小作人に係る事件や、家主から借家人に係る事件は、決して、之を取扱はない、解放運動の戦線の闘卒先に任ずる階級闘争の使命を義務して、解放運動の戦線を法廷に張る辯護士の使命を則して居るのでありますます、故に、私か、直接無産階級解放運動途上の闘争に干係の遠い民刑法廷事件を取扱ふからと云ふても、断じて、解放運動戦線参加の闘争厳守を誤らない事は従来の通りであります。

□

以上、借家人運動の本質と運動方針の確立及組織の完成とに就て、一般無産階級借家人の自覚と奮起とを切望して茲に本論を結びます。(二、八記)

借地、借家問題に関する戦術、又は法律等を知らんとするものに対し、本篇の筆者布施氏は懇切に應答して下さる筈である。横暴なる家主に苦しめられつゝある諸君は、手紙で、東京市四谷區荒木町八番地借家人同盟本部布施辰治氏宛に照會されん事を望む。――(編輯子)――

闘争

村山富美雄

闘争―
闘争―
闘争―
オ、―天空の動乱
黄金の光は「自由」への放射
―流雲―朝
―赤道に公訴する獄囚は
すばらしい速さで太陽を嘲る
今日迄―俺達の肉體は
暗闇の中に閉されてゐた
―水門―
ひからひた涙の舞踏
血の潮流は俄かに躍動だ
友達よ―
雙手を擧げて高らかに叫べ
虚憧山の墳火が足許に展開すれば
―塵埃に宇宙に飛散―絶滅だ
季節の縊死體―
肌をつんざく喇叭の唸り
大道にかぢり付くハンマ労働者
スピリット農民は
涯しなき〳〵原野街路に
連撃
連撃
連撃
目的地に急ぐ―現―理想―永遠―永遠―
荷車に満載されて爆弾
オ、―輪車にからまる―
文明
廻転―
廻転―
廻転―
刹那―螺旋風と一緒に
地底に喰ひ入る既成文明
矛盾を唱へる人道主義中風患者
落陽に吼える叛逆大臣
理想歓喜に酔ふプロ大衆は
金自塔を打ち壊す
弾から弾へ
苦痛と忍従満載の三等列車
颶風―
颶風―
颶風―に揚ぐる黒旗
吐き出す―黒煙―マスト
の頂上
一斉に叫ぶ―
汽笛―
汽笛―
オ、―出航前の暗號機―
暗―闘
暗―闘
暗―闘
脱線―転覆
坐礁―破壊
悲叫―
悲叫―
悲叫―悲涙
動乱―
動乱―
動乱―巻―黒風
オ、―地球は煮え
沸る―
沸る―
闘争―
闘争―
闘争―

軍隊は資本家の番犬に非らず

吉田正之

軍隊は國家を守護する任務の爲めに設けられて居る。則ち國家全體の利福安寧を守護する爲めに存在するである。故に一個人たる資本家の利益を擁護する爲めに動かさるゝ事は斷じてない筈である。然るに彼の米騷動以後一富豪を守らんが爲め、軍隊を出動した事が數回ある。勞働者が資本家の搾取に反抗して罷業に出でし時、内務大臣の命令に依つて軍隊は鎭壓に出動しなければならぬ、最近軍隊内に於て軍隊は富豪を護る番犬に非らずと主張する者がある。又陸軍大學生間に於ても、命令權、統率權等に就いて議論か起つて居る。社會運動者からは「軍人などは古い頭の持主で資本家の犬だ」と云ふ者があるが老將官はいざ知らず、佐官以下の者は軍隊と國家の關係、軍隊と社會組織・社會改造に於ける軍隊の任務等の事を研究しつゝある、昨年長野市の暴動に於て、××此聯隊長なぞは軍隊の任務をよく知つて居るものと謂はねばならぬ。彼こそ眞に國家を守護する軍人の典型である。命令ならば何でも服從するものなら肩章と指揮刀を携帶する土偶である。眞に國家の前途を考へる近代的軍人でない。たゞ俸給や勳章を目當に軍人となつた月給取に過ぎない。斯ふ云ふ者が居るから軍人が世間から輕侮されるのである。かくの如き軍人は機密費を胡魔化して政友會を買ひ取る人である、一大杉を殺して國家の爲めに働いたと信じて居る馬鹿者でめる。世の中の動きを知らない憐むべき人である。前者に到しては言語同斷で、正に公盜である。かくの如き徒輩は吾々軍人が徹底的制裁を加へなければならぬ此種の人でまだ／＼多數ある何れ是等の犯罪が暴露されるであらう。

吾等は正義の士であらねばならぬ。國家の爲め生命を捨てゝ顧みぬ。昔から武士は金錢を卑しみこれを度外した。今の大將連は頭だけチョン髷的だが精神は町人ブルヂョア的金家である。近代の軍人で正義觀念のあつたのは乃木大將位なものであらう。彼は中將の時其上官野心家桂大將と衝突して豫備となつたのだ彼は正義そのものゝ樣な偉人であつた故に後世の吾人をして敬慕せしめる。

軍隊は國家社會の安寧秩序を維持する者である。故に軍人は國家の柱石である（本來軍人許りでなく、主として勞働者が國家の生存を司つて居るが、治安維持上最も大な任務に就いてゐるから敢て自任する）國家の安泰は軍人が握つて居る。故に軍人は國家の先驅者であらねばならぬ。幕末の武士は德川を倒した。國家改革の爲め身を鴻毛の輕きに比しこれを行敢して維新の革命を成就した。

明治になつてから上官の命令に是非を問はず服從しなければならぬ、政治に關係してはならぬと當局者は規定して居るのは將官連が其位置を維持する爲めである。これが爲め田中義一の公盜事件も公に批判する事が出來なかつた。將來軍人は不正に與みしない樣になり、上官の行動を批判する事が出來、又選擧權が行使出來る樣になるであらう。

或る人が今の軍人は正義を知らぬ人道を知らぬ、道理を知らぬと冷笑された、私は憤とした、そして、其の夜靜か考へた、實は其當時私は士官學務を出た計りであつて震災の際は人民を壓迫する任務に就いて居つて人民は吾々軍人が控へて居ると思ふ位な幼稚な考へで丁度幕府時代の侍の如ふな氣分であつたが私は此人の冷笑されるのも又止むを得ないと思つた、其後大杉事件、龜戸虐殺事件等が軍人間に問題となるや、青年將校は寄ると必ず此問題に付て議論をする、又昨年起つた機密費問題は吾々に極度の憤慨を起させた、則ち軍隊社會の支配階級たる大將連は勝手な事をすると、保守的なものは軍隊の名譽の爲め軍人精神上由々しき問題であると憤慨し、急進的なものは軍政改革を叫び軍隊組織の根本的改選を主張し、更らに軍人は如何にして國家社會に奉仕する事が出來るかと頭を、惱まじ最後の結論に到着したのである、其結論とは何ぞ則ち軍人は正義に殉ずる事である。

吾等はかう考へ而してこれに向つて進まんとして居る、正義とは、何ぞ最大數の最大幸福である。

私は最近の軍隊内に於ける思想の動きを多少の例を擧げて說明する事を知つて居たが頑迷なる上官の爲め、其人が馘首されるのを避ける。

思想は縛する事は出ない。軍服で包むでも精神は反つて諸君より自由である。軍裝の爲め鬱勃たる思想が包まれて世間から反つて注目されぬ。

それ故他以上に自由である。

吾等は日常の練兵や行軍中獨り將來を想ふて微笑する。

吾等少壯軍人の間には貴社は注目されて居る。囑目されて居る事を玆に斷片的に禿筆を弄し貴社の健鬪を祈ると共に附記して居きます

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

政治運動の二様相

澤井龍之助

一

政治は力である。是は一般人の常識の樣だ、政治家は「政治は力である」とも云つて居る。然し乍ら何れにしても政治と、云ふものが一個の力の具體的發現である事は否み難き事實である。

　力と云ふものは是れを個人の個有的單純な力と見るを得べきであらう此の個有的單純な力に數に依據して一個の組織的集團的な力の具現化を見た時、それは單なる個人的個有性の單純な力を脫出して此處に外部を威壓し征服する物理力の脅威を生ぜしむるに至る事は古來の歷史を繰つて見ても必然たる所である。

　古代の郡生活に據つて見るも、一個の種族が他の種族を脅威し、此の集團體の力の凝集したる物理力に據つて其の中も最も偉力ある種族が他の郡小種族を征服し、而して一つの國家を發生せしめた事は征服國家說に據る迄もなく吾等の信ずる所でなければならぬ。

　政治と云ふ事實が只單なる（國を治める（政を行ふと）云ふ至極、民衆を欺き安い名詞の裏面には其の（政を行ふ）何者かの意志と欲望の存在する事を見逃す譯には行かない。即ち、政治を行ふ、所の支配階級に何等かの思惑がなければならないのである

　國家と云ふ名稱は表面上は美々しく聞えるが其の實內容を解剖して見ると、其れは一つの階級が即ち、支配階級他の階級を搾取する機關に外ならないと云ふ說がある。然らば、國家機能の具體的表現とする所の政治と云ふ事實は此の支配階級の意慾を忠實に果す所の施設以外の何者でもないと云ふ事になる。

　此の前提―若しくは命題の下に吾等は現代の資本主義的諸政治を科學の顯微鏡を通じて分析して見やうではないか。

二

個人の力が單なる其一個人の力である場合に於ては人を威壓し脅威せしめ、又は征服する事は至難である從つて其處に何等問題は生じない。即ち、單なる個人對個人の喧嘩に過ぎないのだ。吾等は斯麼事には大して關心する必要を見ない、然し、是れが或る一つの集團を爲した場合、此の力の凝結は懼るべき結果を招來する豫感に打たれなければならぬ。

　徳川時代の江戸に於ては、時の權力的集團たる旗本と云ふ直參があつた。

　是れは、徳川家康幕下に於て常に千軍萬馬を、主君と共に身命を、倶にした、と云ふ所から、將軍からも重任され、我儘も許されてゐた所のものである。而も祿ではあるが、位階に於ては郡小大名よりも遙かに、重い所の彼等は、大名いじめに憚らず、無法に、も町人共へも其の魔手を延し、剩さへ酒と女と喧嘩の三拍子を以つて江戸八百八里を橫行濶歩したものである。

　此の暴狀に奮起した所のものは他ではない。諸君も知るゝ所の（江戸の華）町奴、即ち俠客でなければならなかつた。是れは時の制度に於ける最下層の階級ではあつたが、旗本の亂暴狼藉には堪忍袋の尾を剪つて猛然、起つたものである。

　而して、町奴なる一つの集團的力は旗本の暴狀に對抗する町民の自衞武器又は反抗機關として町人階級からも始めの中は歡迎されて居た樣であつた而して、此の力の働きが、擴大するに連れて、旗本對町奴の鬪爭は勢を増大せしむるに充分であつた彼等の謂ふ弱きを扶け強きを挫く）合言葉は是れを現代に持つて來るも敢て其の內容的價値には何等變化は

福本和夫は社會主義者か

兒玉生

福本和夫、彗星の如く現れ、共產黨評議會の內部を攪亂し、先輩山川均を陷れ、學佐野を葬り、幾多の同志を壓倒し遂に共產黨系の總ゆる團體を乘取つた。而して**如何に**流言を放ち、無產團體を**闘ひ取るべきか**を、泥・一派に統合しつゝある。

彼福本の如きは、共產黨の傳統的泥幹精粹の結成、傑作的人物である。彼の「如何にして闘ひとるべきか」は戰鬪的スローガンであるが、レーニンの種本によるのであつて、彼は一昨年獨逸に留學し、獨逸の反動主義者の論說を、社ヶ主義學說へ應用し、十人斬りの藝當を試みて巧に評議會系の無智なダラ幹を煽動したに過ぎない。吾等が彼の所論を點檢すれば實に多くの笑ふべき誤謬を發見する。公孫龍子の白馬非馬論法を以つて淸態にも多年苦闘せる社ヶ運動家を攻擊して居る事は、吾等の夙に看破する所であるが、彼の暴論に惑はされて居る學生や勞働者の多い事は、諺にある盲千人と云ふべきである。

　私は彼れの論文は、福田德三の明治三十四五年頃の著書と同樣であることを發見する。彼の文章は小學生にも劣りて居る。文法などは少しも知らない、恰も法律家の論文の如く、而して論旨甚く不徹底である。たゞ低腦兒がこれを讀むと、複雜なるが如く見えるから驚愕して、其の意味を把握するに惑ふ。故に福本の讀

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無い筈だ。さればと云つて現代に於ける俠客？と自稱する所の、國粹會なんかを持つて來られては甚だ迷惑千萬である。彼等は弱きを扶け強きを挫く、所のものではなく、時の支配階級に阿諛迎合する所の、强きを扶け、弱きを挫く、蒟蒻魂の恐客とでも云ふのであらう。

『個』が重なつて凝集した場合それは恰度十本の矢を一本宛折る時には易々たるものであつたのが數本を重ねる時には不可能になる如く、町人たる意氣地無しの彼等も團結して起つ時には最大權力的集團たる所の旗本を向ふに廻して勝負をする事も出來る樣になるものだ。而して是れが一個の社會的必然に據つて動く時、其の力は侮るべからざる權力を獲得するに至るであらう。即ち、伊太利に於けるファーシスト一派に、徴して見るも、高々二萬そこそこの烏合の衆を蒐めて而もあれだけの政治革命を斷行したではないか。

此處に於て、吾等は政治運動の具體的表現として、力の慾望に基づく集團的力に眼を向けなければならない。

三

現代の資本主義的經濟組織下に於ける議會政治なるものが果して、眞の民衆政治の代議政體であるか。何うか、議會政治下に於ける權力は何れの國を見ても總て是れ資本家階級の獨裁的地位に置かれて居る

即ち是れを我國に於て見るも、我國程、歴々然とブルジョアジー共が議會制度の下に事實上、文字通りの權力を獨裁して居る國は一寸珍らしいと云わねばならぬ。而して〈普通選擧〉なる法案が漸く昨年の議會を通過したばかりであるに徴しても如何に我國が民衆に對して政治の解放を恐怖して居る事が推察出來るものである。

彼等の政治のやり、くり、を觀る時、如何に矛盾に矛盾を重ね、權謀術數に日も是れ足らぬと云ふ悲慘なる滑稽事を見せつけられて居ることか。」「普通選擧」と「治安維持法」の期時制定及び「小作法案」制定前に於ける「小作調停法」又「勞働組合法案」制定の掛聲姦びすしい先より「勞働爭議調停法」の制定等に、彼等の爲す事、總て是れ矛盾と反噬以外の何者でもあり得ないではないか。

是れを以つて是を觀るも、現在のブルジョア議會政治なるものが、如何に大衆の意志を無視し反デモクラチックである事が知れるのである。

吾等は今や、普通選擧に於ける選擧權を與へられては居るものゝ果して、是れのみに據つて吾等の理想が達せられるか何うか。

如何に吾等が、議會に代表者を送る共、亦假令、絶對多數に據つて議會を左右され得たとしても、果して、[illegible]るか何うかは大いに疑問無からざる所である。

吾々の政治運動が只單なる議會運動若しくは大衆の何十萬分の一かを算する所の代議士運動であるとするならば社會主義政治は愚か、英國に於ける自由主義的政策の焦點迄をも踏み得るか何うかも疑問としなければならない。

此處に於て、吾等は曰ふ、政治運動はそれが、唯議會運動否代議士運動のみであつてはならない。即ち、吾々は個々に於ける力の慾望を主體とする所の（集團の力）に其の關心を置かなければならないのであると。

翻つて顧みるに、今や現在の勞働組合間に於ける政治運動なるものは只管政黨問題のみに其の關心を奪われて居る樣である。吾等は其れが無用であるとは云わない。然し乍らそれにのみ行動する事は徒らに、政權の獲得を握むに[illegible]にして肝心の大處それ自身を忘れ去る危險性を生む原因となりはせぬか。

試みに思へ。彼の英國勞働黨及び獨逸、佛蘭西、伊太利等諸政黨の從來迄の過程と推移及現在の實狀を。

吾々は政治運動が（眞の力の實態として認識され得る時に、吾々の××××は意外に早く速進しないであらうか。即ち、それは政黨運動ではない。社會的必然の勢力に顧慮して赫々の熱慾と何物をも破壞せずには置かぬ所の迫擊力を有する[illegible]の「集團の力」に據つて吾々は資本主義の牙城を突き破らねばならない。

解不徹底なるを深遠なる思想と迷信するに過ぎない。

私は嘗つて、評議會の集會を傍聽した所一勞働者曰く「其れは辨證法的でない」と云ふ。一座の者皆之れに和す。彼等は辨證法の何物たるを知らず、辨證法を一つの思想と思つて居る輩である。私は之を見て苦笑した。彼等は自己に解し難きを尊び、自己の知れるものは眞理なるも之れを悟らない。

如斯人達の間に、彼の難解、荒唐な思論が流行したのも無理はない。未だ資本論を讀まざるもマルキストと稱する評議會の幹部の、福本に最大の敬意を表する、又知るべき而已。斯くの如き徒輩が社會運動に從ふのは、最も危險性の多量なるを恐れざるべからず。吾等は此の自稱マルキストの左右是非議論を探つたく思ふ。福本も未だ資本論を讀んでゐない。其れは彼の言說中に明かに知る事が出來る。私は彼和夫が果して社會主義者なるや否やを疑ふ。何となれば、彼が日本の社會運動を攪亂した結果が辨證法的結論に到着する。彼の正體、抑々何者ぞや、吾人は暫く彼を見やう。

端なくも彼は二月上旬、婦女誘拐の犯罪によつて檢擧された。都下の新聞は肉の巡禮と稱し、彼が四人の妻を代へ、二十六人の女に肉の洗禮を與へた事を報じた。彼れの迷信者はブル新聞の惡宣傳と辨護するかも知れないが此の一事は如何に小便法を弄しても、社會運動を冒瀆した事と斷定せねばならぬ。彼れ和夫果して大衆を指導する社會主義者か、將又、如何にして女を鬪ひとるべきかの島淸の徒か、敢て評議會共暇の鬪士に問ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一勞働者の人生觀

上田一雄

私は曾つてある哲學者から次のやうなことを聞かされた「勞働の階級を、導するものは理論や科學ではなく、崇高なる人格者である。而して彼れの一言一句は、眞に勞働者階級を導し得るのである。此處には最早理窟はない。唯だ宗教的信仰があるばかりだ。」と。尚ほ彼れは指導者の實例を内外古今に亙り、右の論法を以つて、豐富な言葉を並べた。

我等勞働者は常に、あいまいな言葉を其のまゝ偉大とか崇高とか言つて、奉つておくことは絶對にゆるし得ないのだ。

指導者と言ふ考へを、もう一歩ハッキリと我等の解放の爲の、我等自からの理論と運動の中に、重大なる參考書の役割を演じて居る我等同志が決して我等同志をはなれて我等の指導者はないのだ、と頭裡にキザミ込んでおくのだ。

我等は、我等の現實生活が生んだ我等自からの理論を礎とした運動に於てこそ、共々に手を握つて我等自からの解放の歩を力強く續け得るのだ。

此のやうに、全てのことを最後まで冷やゝかなメスに掛けねばやまない我等を見る時彼等は、次の如く常に言ふのだ。

『それでは諸君の人生は實に乾き切つたうるおいのない生涯ではないか。人間はそうしたことのみに依つて、滿足の出來得るものではない、必ず宗教的信仰に亙つてこそ滿されるのではないか』

彼等が常に我等に強要する宗教は、如何なるものか考へて見る。

私は、佛教とかキリスト教とか、又多數の種類や分派のある宗教の眞髄を批判するのでない。そんなことは、死んだ子供の年をかぞへるに似たことであるからだ。只だ現在社會における此れ等の宗教が如何なる組織の上に置かれ、如何なる機能をもち、而して如何なる結果を生みつゝあるかに付いてだ。

酷使と、疲勞と、寒さと、病氣に不具に加ふるに若死によりなき、社會的經濟的弱者の位置にある我等勞働者の、其の弱點を付け込んで、あきらめ主義な未來觀を極度に吹き込み、有りもしない極樂淨土の麗かさを想像せしめるのだ。そして如何にも天來の言葉であるが如く、

『汝等が現世において神に使へる道は、唯だ忍從と報恩の念だ不平不滿を言ふな、全ての喜び悲しみ共に感激して受けよ、其れは神が汝等を愛するがゆえに天國へ導く爲の試鍊なのだ』

と。全てに渇望しておる勞働者をして美しき言葉に醉はしむるのだ。

◇

生産と分配の公平に行れておる社會にあつては、不平不滿も大したこともなく、美しき報恩の念も共々に幸福なことであるのだが、ブルヂョアーと、大多數の被搾取階級のプロレタリヤとより構成されて居る現代社會に於ては、益々勞働者をして奴隷化せしめプロレタリヤ文化の建設もついに夢想となるのだ。そして永久にブルヂョアー階級の搾取は保證せられ、彼等にとつて非常な好都合となるのだ。

其れは決して、彼ブルヂョアー階級にとつては、偶然の幸福ではなかつたのだ。寺院や教會が常に彼等は、彼等の不勞利得を増進せしめるやうな機能を行なわしめており、すでに完全なる資本家の走狗となつておるのだ。

ブルヂョアー經濟組織の上に建設された今日のあらゆる宗教は、其の當初より美くしき自由主義の名により、資本主義産業を發展せしむべき使命を帶て居たのだ。

だから最早今日、寺院や教會其れ自體がすでに完全な勞働者の血を吸ひ、肉を喰らう周旋屋であり、營利會社であり、純然たる搾取階級なのだ。

下ッ端の宗教屋は此のやうな事を意識して居ないだらうが、猿智惠の廻る最高幹部の坊主共の意識しておる事は、ブルヂョアー新聞の三面記事でさへ報じて居るのだ。やがて我等正義の戰が來るのだ。其時先づ第一戰の血祭に彼等を上げるのだ。

◇

釋迦やキリストの教へは斷じて共のやうなものではなかつたと、彼等は云うであらうが、共んなことは百も承知して居る。今日となつては其の教理が眞であり、善であり、美であればある程、我等にとつては危險なのだ。

それはどうしてか、其の眞善美が深ければ深い程、純眞な勞働者の引込れる率が大いからだ。

何時の時代でも寺院とか教會は、其の時代の權力階級の意志を代表して來たことは、歴史的事實である以上、現在ブルヂョアー社會に保護を受けて居る教會や寺院は、引込まれて來る勞働者の弱身を、ブルヂョアー道徳に神佛の假面を着せて、ブルヂョアー道徳を植付けるのである。

だから、すでに寺院とか教會とか其の他今日國家に依つてゆるされて居る宗教は、我等勞働者にとつては灼熱の地獄なのだ。

我々勞働者は、我等の現實生活の中より、我等の人生觀を生み出した。其れは我等の宗教かも知れたいが、今や醜いすがたとなつた宗教と言ふ言葉は、純眞な我等の生活の

中には用ひられないのである

◇

先づ現實の我等の進むべき問題は、プロレタリヤ文化建設への歩みである。其處に向ふ時、我等の人生觀は光りを放つておる。其處に進むのが我等の全生涯なのだ。彼等に云わしむれば、餘りにも限られたる生涯であらうが、我等勞働者は、無限の美しく見ゆる空想よりも、我々にとつて極て重大な此の一つの實現を愛するのだ。其れはやがて、すべての理想の實現の第一歩であるにおいておやである。最後に吾々は聲高々と、かう云ふであらう。唯だ我等勞働者の人生觀を基礎とした科學が、理論が、運動がキリストも釋迦も空想のみで出來なかつた天國が、極樂が。來世でなく此の地上に、然も盤石の上に建設されることは、社會進化の歷史的必然であると（完）

◇　◇　◇

政黨不明

[illegible]を[illegible]ず

[illegible]

（一）

[illegible]

（二）

[illegible]

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

[illegible]

起て！日本無産階級 [illegible]

既成政黨を倒せ

春田勝彦

今や資本主義政治は吾々プロレタリアと全然相敵視する様になつた、ブルジョア政治屋によつて提出される議案のすべてが吾々プロレタリアに取つて最も不利にして又壓迫的で、搾取的である。壁に向つて強く投げられたゴムマリは必らず或強さを持つてはねかへる」と同意義に於いてブルジョア政治家によつて露骨になつたゴムマリ式政治が何時迄も民衆を欺瞞し搾取する事は到底不可能な事となつた。然るに飽く迄も挑戦せんとするが如きは、反つて吾々プロレタリアの反抗心を激昂させ、遂には憂ふべき一大事をも惹起するに至るであらう。

吾々は既成政治の醜陋にして、今日のプロレタリアの斷じて信頼すべきものにあらざることを、今回の妥協政治にまざ／＼と見せ付けられた。

彼の憲政會が、野黨側が政府不信任案を提出せば、斷乎解散を以つて、彼等の不信任案を蹴散らして了ふと云ふことを宣言して、野黨側を暗に威嚇してゐた。此れに對する野黨側は、真向より、朴烈問題を引提げ、松島事件を振り翳して、一擧、政府不信任、憲政會彈劾を叫んで、政權の奪還をあせつてゐた。然るに政界の雲行き、愈々急を告げんとする時、果然、若槻・田中、床次の三黨首の數回の會合によつて、遂に威嚇もなく不信任もなく、彈劾もなき所謂三派妥協と云ふ、既成ブルジョア政治家の本音を遺憾なき迄、露骨に表はした。

妥協の成立する迄、解散は必然だと信じてゐた國民こそ誠に、鮮かな背負投けを喰はされた樣なものである。

斯くの如く、既成ブル政治家の手中にある、墮落政治は到底、國民の要求する樣な正しい政治を行ふ事は出來ない吾々は此のブルジョアの政治勢力を速かに倒さねばならぬ

日本進化の過現末（二）

工藤勝市

四　資本主義時代

大政奉還と共に武士階級は崩解した。そして浮浪無産者が益々其の數を增して行つた。從來手工業を營める者の中の手腕者は、其增加せる無産者や農奴を使驅して、自己の利益を計つた。之れと同時に狡猾な商人は其手腕を發揮して浮浪無産者を集め、從來の蓄財を資本として自ら幼稚ながらも物品の集團的生産を始めた。そして彼等は段々分業的に働かす事によつて以上の利益を得るやうになつた。此所謂手腕家こそ現代ブルジョアーの卵である。此當時から一般の手工業者は漸次其の生産手段を失つてそして、單なる勞働力の賣手と化して行くのであつた。

大政奉還直後の日本は所謂貴族、華族階級と無産階級とに區分する事が出來る。公卿や諸大名は華族階級に、武士農、工商人は無産階級に、分割出來やう。然れども、此無産階級はたゞ單に名目のみにして、其實社會の支配者たるべき多くの卵が潜在して居た。當時商工業の所謂手腕家こそ現今の資本主義制度の建設者である。此卵が完全に成長する迄には多くの悲慘な掠奪が行はれた。そして此建設者こそ其掠奪者である。今なほ其掠奪は高等な手段方法によつて繼續されて居る。而して此に多くの慘事を殘した掠奪時代は、我日本歷史上に大書すべき、專制的國家組織から立憲民主國家組織への一大社會變革である。所謂明治維新である、此暗闘中に西洋の文明は押氣なく流れて來た。黑船の襲來は如何に我祖先等を驚愕せしめた事だらう、間もなく西洋の文明は鎖國の日本へ侵入した。科學の進步につれて種々な機械、發明されて居た。そして新大陸も多く發見され、又日本の航路迄が開始され居る。眠れる日本も異常なる新環境によつて、益々社會的小變革が行はれた。そして從來の小さな商業資本は次第に工業資本と變化して行つた。今迄の小規模な生産は急激なる需用と相俟つて增々大規模なる生産の方法へと進んだ。此れ皆機械の發明によるものである。此時こそ所謂日本に於ける産業革命であつた、此産業革命に於ける工業資本の所有者こそ一切の生産の支配者となり、惹いては社會全體の支配者となつた、益々科學が進步するにつれてより一層巧妙緻密な機械が發明された、と同時に生産の支配者は增加した所謂ブルジョアーの絕大の勢力を得る所となつた。然し一方榮ゆると同時に他方には無産者の群が日に日に膨脹して行つた。そして此に支配する者と支配される者の兩者が生れた。支配者とは小數にして搾取者である。被支配者は多數にして被搾取者である。そして此搾取者は總ての生産機關の所有者であり、被搾取者は非所有者である。斯くして此に全く利害相反する二つの階級が生じた。所謂小數のブルジョア階級と多數のプロレタリヤ階級である。而して此二階級の間には嚴密な意味に於て所謂中産階級なるものが必然的に存在して居る。そして此階級は農民（小作人にあらず、自作農なり）や俸給取を含むものである。然れども其利害關係は同じく、直接間接の被搾取者である斯くして、此に利害相反する二つの階級が互に闘爭する現社會と推移されて來たのである。一方よりは多く搾取せんとするに反し、他方は生くべくこれと闘ふのである。

先に産業革命によつて小數ブルジョアー階級は社會の權力及び從來の幕府に代つて政治上の權力を自己の手中に獲得した。其結果、現代に於けるすべてのものが其制度を以つて最も自然的な永遠的なものであるかの樣に感ずるに至つたのである、然れども此確立された資本主義制度は果して永遠不滅の制度であらうか。すべての生産は營利を目的とし、社會的必要の有無を問はず、萬人の幸、不幸を顧みず、其正、不正を辯ぜず、飽く迄我慾の滿足に供して居る。實に現今社會は商品賣買の社會である。生産は我等の應ずる生産でなく、たゞ單に買賣を目標とする生産となつた。今や全無産階級は自己の勞働力（肉體的、精神的）を商品としてブルジョアーに賣るより外に生活方法がなくなつたのである。生存權は奪取されて終つたのである。

而して前時代の手工業に於ては生産者（勞働者）は其生産機關の一部を、自己の生産に必要なる程度に於て所有して居た。（例へば道具、原料勞力等）然し現今の如く大工場に於て、大規模な機械により、生産を營む樣になつては到底自己の生産に必要なるものなりとも所有する事は不可能である。たゞ賃働勞働者となつて自己の勞働力を賣る事を餘儀なくされたのである。然るに此勞働者は常に自己の生活に必要以上に勞力を費してある一定の剩餘を生産して居る。此剩餘の總計こそブルジョアーの娛樂費、生活費、奢侈費等に充たされてる即ち現在社會に於いては組織的搾取が行はれてるのである。

さて以上の如き現今の社會制度が果して永遠に持續せられるであらうか、それとも一定の時期に於て變革されるであらうか此問題は紙面の都合上次號に讓る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

組合運動の新陳列

菅川利吉

最近勞働運動の全線的展開進出、無産政黨派の政治運動に對立もしくは平行して經濟戰線に於ける勞働運動の全線的進展が際だつて目立つて來た。こと、經濟的勞働總合の結成はこの經濟的全線的進出を明確に彩つて居る問題であるのだ。

全勞働者總聯合を結成せよ！、これは久しく全無産階級の標語であつてあらゆる無産團によつて幾度も提唱され、不斷これが、實現に對しての努力が拂はれつゝあつた。まことにそれは資本階級への痛激を要求する無産大衆の切實なる叫びであつて更らに支配階級への脅威であると言ふまでもない。しかも大正十一年の組合總聯合運動が決裂して以來、純眞なる階級的運動は內部に於いて一部の策士に依る蹂躙のためにしば〳〵その要望は阻止せられつゝあつたそこには組合帝國主義の上に起つて己れ自らの殼を守る一部で人々の蠢動を多分にふくむで居た

時はめぐる。無産政黨樹立の問題は依然その時を得て擡頭して來た。階級戰の鬪士達はこの方面にこそ單一政黨の戰線を結成せんとし狂奔が試みられたり、論陣は等しく單一階級的を異口同音に大衆の上に強調する兎も角も無産政黨は生まれたが直ぐそれは禁止解散の運命に落ちて第二次の政黨亦幾多の波瀾重疊する策を極めて多くの團體があひついで脫退した。無産政黨、於ける單一運動の夢はかくして跡かたもなく消へ失せて各々の主張へと支裂したのである。

危機は再び無産階級の政治的陣營にもおそい來つた。且つては勞働階級の經濟的戰線に於いて、その、實現を期待され乍ら組合總聯合の運動が分裂した如くいま無産政治戰線は單一階級的の會か鳴り物入りで吹奏されたにもかゝはらず、遂に四裂するの除儀なきに常し、勞働者の前には日和見主義者と言ひ、左翼小兒病者と呼ぶ、其他樣々な惡罵の喧較たる聲が殘されたのみであつた。

然し乍らこの如く勞働階級の陣營の裡にある左右兩翼の爭鬪は必ずしも一方が秀でゝ居る理由を、認め得ないのみならず、極端に蟠居する組合帝國主義者が互に對立して大衆の熱烈なる要求を阻止する有樣を結果したのみである。

しかも今日に於ける日本資本主義の狀勢は世界を一貫する資本家階級の攻勢と同じく近時著しく組織的に資本家階級は共同の戰線を支持して一般勞働者に對し積極的な對策を起つて進んで來た

我々は是を「賃金の低下」―「一時間の延長」「各種偽瞞政策」―「暴壓法令の出現」等々の事實につよて觀破する。そしてそのことは勞働階級の陣營が當然に積極的な進展へと進出すべき情勢にまで當面する。

こゝに勞働組合の運動は必然的に經濟的戰線を結成しての飛躍を絕對に必要として展開する。

單一階級的なる政黨派の標語が一たまりもなく多くの權謀策動の殘骸を曝露して四裂したる今日の情勢は更らに經濟

ハガキ回答

最近の感想

■本可莊宗氏

一、日本の現實狀勢に對する程度、從つて、無産政黨の三つに分れたのは止むを得ません。日本はまだ自由主義に毛の生えた位の所と見るか。或は無産階級意識を自覺させて共同一致せねばならぬと見るか、この間を取つて進むべしと見るか、要するに現實の認識と可能の信仰との差です。

一、日勞黨と勞農黨との提携を望みます。民衆黨、既成黨の中の進步的代議士達の集りと同じだと考へてゐます。

■江口渙氏

日本の無産政黨（特に秘密結社日本共産黨をも中に入れます）のどれかが議會主義によると、又は革命主義に依るとその手段の如何にかゝはらず、若し一權力を把握した時、平生主張してゐる、インタアナショナリズムの徹底のために、臺灣朝鮮、樺太、關東州等の植民地を無條件でそれぞれの民族の手へかへすでせうか。それとも自分達が權力を握つた時には平生、主張な蹴飛して相かはらず植民地からの搾取を續けるでせうか。大いに興味のある問題です。

■吉田源藏氏

何と言つてもブルジョアーに血迷つて來ました當地反動と焦燥で落ちてます、神道會とか「巡査俱樂部」とか自稱するガラクタ共が退去の勸告にやつて來ます。家主は國粹會員から私を放り出せと迫られたさうです。社會主義を信奉するものには鼻の下のゲンコい往復では何の感もしませんね

――二八七――

■中西伊之氏

ロシア、イタリイ、スペイン、支那農民勞働者の自力ない國々の獨裁治に日本の自覺ある農民勞働者が學ぶ必要などこにある。新生々の自覺ある日本農民分働者よ智識階級の獨裁政治を排斥し――農民勞働者の評議政治へ！

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

的戰線に於ける勞農大衆の眞實なる階級的結合こそ無階級の解放運動へ新らしい運動精神を復活せしめたのだ。

かくてこの經濟戰線の確立と共に平行する政治運動も亦有力に擡頭することは言ふまでもない。

勞働組合の結成！それは最近の勞働組合の經濟的戰線への全面的な展開を濃厚に彩つて居る（二月十日）

支那に於ける帝國主義を葬れ

陽 憲 渉

由來、支那は列强資本主義國家の帝國主義的侵略者の餌食となつてゐる。國際的資本の魔手は軍事行動による武力的侵略を以つて、支那に於ける樞要の地を占領し、之れを租借地として、或は支那民族の搾取、或は政治的干渉等の暴威を擅つて、支那を脅威しつゝある。

最近、國民革命軍たる北伐軍が支那民族解放を旗幟として、漢口其他に於ける英國の租界地を奪還したことに端を發し、英國政府は彼等と戰ひを交へ、再び侵略慾を充足せんとして、本國より兵を送り、正に戰端を開かんとしてゐる。

若し此の戰ひが開始されたならば、列强資本主義國家の利害の衝突を來たし、或ひは帝國主義的世界戰爭を生むに至るやも知れない。而して、英國政府は日本政府に對して出兵を慫慂したるが如き、國際的資本主義の共同戰線を暴露したものであると云はねばならぬ。

支那の租界を列强の支配下に置く、ことは、獨り支那民族の損害に止まらない。それは實に全世界のプロレタリアートの損害を意味するものである。吾等は英國の武斷的侵略の貪食性を無產階級全部の利害に關するものとして、徹底的に葬り去らねばならぬ。

全世界のプロレタリアートは北伐軍を應援して、支那全土より列强資本主義の搾取を撃退せよ、支那民族の解放は、列强の搾取を取り除く事を措いて他に道は無い。全世界のプロレタリアートは、東洋に於ける最大の被壓迫國家たる支那を國際資本の侵略より引き離せ！

支那民族を列國の手より救ふことは、全世界のプロレタリアの勝利を意味する。

吾等は全世界のプロレタリア同志諸君の、絶大なる聲援を望んでゐるものである。特に東洋に於ける、被搾取階級として、同志である日本のプロレタリア諸君！諸君も亦日本のブルジョアより、そして吾が支那を、國際資本の搾取より、取り戻さん事を望む。

支那民族を列强の搾取より解放した時は、世界プロレタリアの勝利であると云ふのは、即ち、支那は今や、正に國を擧げて社會主義國家になる事を望んでゐる爲である。然り、支那は世界に於ける第二の共產主義國家になるであらう事を吾等は、信ずる。國民軍の奮鬪は、實に此の事を明示して餘りあるだらう。確信してゐる。國民革命軍、北伐軍は、實に支那に於いて第二の××××を斷行し、プロレタリアの勝利を望んで進むものであることを、全世界の同志諸君に宣言する。北伐軍を應援せよ！

一月號追補 社會運動の回顧と希望

■ 土田杏村氏

一、經濟運動と政治運動が混淆した結果種々の團體に集合離散があり、其の團體員の間に感情的離隔を生じた事を遺憾とします。併しこれも已むを得ない經過でせう。

二、政治運動の意味を輕じ過ぎて經濟運動を忽せにすると云ふ事の無い様にしたいです。消費組合運動の起る事を望む。

■ 山内房吉氏

一、大正十五年の社會運動は統整前の分裂時代であつたと思ひます。

二、十六年に於ては分離すべきものとはつきり離れ、統一出來る限り統一して全無產階級的運動形態を確立して欲しいと思ひます。

■ 平野小劒氏

一、他の社會運動團體に對する感想は措いて、干係してゐる我が水平運動は日本共產黨の謀策に惑つた者の爲めに戰線の攪亂を重ねしめられ、非常な戰線縮少を見た。然し半期に於ける狀勢はダラ幹共產派の凋落となり、稍々落着し、概して十五年度の運動は沈滯であつた、他社會運動團體も大同小異の結果ではなかつたらうか？

二、十六年度の劈頭にあたつて社會運動への希望　ロシア同胞とゴマのハイ並にダラ幹共產黨、奴等を日本から追放して純眞なる階級戰線の共同結成を企圖し一大飛躍のもとに勞農者の問題は勞農者自身の行動によつてのみ解放さる標語を持つて一路邁進みたい、否進まれん事を希望するその爲には「進め」は全般の力を傾注し欲しいものだ

■ 中伊之助氏

一、十五年は政治狂の狂踏亂舞で日本のプロレタリアは犧牲苦しんだ。

二、十六年はその惡夢から覺めん事を祈るのみ。

■ 松岡駒吉氏

一、感慨無量

二、誰もが好い兒になりたい心持をすてて、所信に忠實である事です。

■ 梅田又次郎氏

一、私の期待に背いて非常に失望しました。大敵を目前に控へてゐて、仲間喧嘩をするは何事でありませう。私は目的を遂ぐるまで何事も犠牲にしたかつたのであります。併し今となつては是非もありません。

二、總選擧に當[illegible]して[illegible]になつたものか、一致の行動を取るやうにしたいものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

壓迫の爆發

予盾した事が山程ある現今社會に於いて、政府當局の頑迷固陋無智は最も、その顯著なるものである、度々俺達が本屋を訪れる時（まだ○○は出ぬかい）と問ふと（又發賣禁止でせう）と無關心に答へやがる。此言葉を聞く度に俺達の心はまたか！）と憤怒に燃へざるを得ない。斯く禁止するブルジョアーの走狗の心底が判らない。同じ無産階級の内に籍を置く奴が同じ仲間を壓迫迫害するなんて、實に憎むべき××××

彼奴等裏切者がブルジョアーの手先に使はれた、眞に無智かそれとも明つてゐてか知らぬが社會秩序維持上、面白くないとして發賣禁止を喰はせられても、決してそんな事で正義の叫びを中止する様な事は夢にも出來ない。吾々にはたとへ、共前衛軍がやられても、それに代つて突撃なる後備隊が永遠に續いてゐる。吾等の進行は永遠不屈の進化の進行である。最後に馬鹿な裏切者に一言申して置くきつく叩き突けたボールは一層強くはねかへると云ふ事を。【東京戸野元】

革命の第一戰

我等は我が上之町青年團の官制的壓迫の改革を期す爲に去る一月二十五日青年雄辯會を開催した。中には未だ眼醒めない青年が危險思想を排斥せよとか忠君愛國がどうとかと、論じてゐた様だつたが僕等は大いに反對した。我が村當局が政治問題社會問題を論究する事を非常に嚴禁してゐる。それに對して僕は激烈なる駁論を試みたのであつた。中にも同志の一人は無産青年同盟が昨秋ピクニックを決行した際に、何等の理由なしに檢束をしたと云ふかどで、警察をばドシ〳〵攻撃したのである。實に痛快であつた。又最後に登壇された關西大學生某君は曰く

（社會主義、共産主義は危險思想ではない、吾等人類を幸福に導いてくれるものである。併し之等思想の危險を高唱する者があるが之は畢竟反對の思想家の命名せる形容詞に過ぎないと云々

然り〳〵同感、痛快を感ぜざるを得ん。閉會後ブル公は青年が政治問題社會問題をやつては不可ないではないかと、不平ダラダラこぼして居た様であつたがそんな事にビクツともする様な吾々ではないのだ。斯くして昭和青年の意氣を大いに鼓吹したのであつた。

今後毎月一回宛舉行する豫定であるから益々激しくキャツ等を糾彈摘發してやる意志である

因に當日は開會時刻には、既に聽衆は潮の如く押し寄せ、せまき會場は立錐の餘地なく、登壇する辯士は悉く拍手喝采裡に、而して論旨は穩健着實を以て終始した。尚ほ××××××××××××××××××。斯くの如き盛況を呈して、無事散會した事は實に祝福すべき事である。

青年諸君！終りに望んで一大奮起せられん事を切望して已まない次第である。

【大阪 三木田普太郎】

地主を葬れ

農は國本だ。農民は國寶だと餘り持上げるない。みんな欺瞞と侮辱の方便ではないか、働いても〳〵ても食ふ事も出來ないのは我々百姓ではないか、野獸の如く働き廻されて汗と油の結晶たる所得迄され、野良犬の様に骨と皮ばかりに絞り取られ、生き過ぎぬ様、死なぬ様に取扱はれるなんて、何んと情ない人間となつて終つたんだらう。

さうだ！勇氣を奮つて起たなければならぬ全國の農民起て兄弟

現社會制度は冷血鬼地主共に暴君の横暴を公許し、一方吸血鬼地虫共を擁護する法律と我々を壓迫する官憲を設置してあるこんな制度下に於て、農は國本だ農民は國寶だなんて、云つた

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて何時迄奴隷の様に屈從して居られやう。地主の財とは我々農民の肉を取り血を搾つて作つたのである。斯くの如き人間の生存を害して貯藏せる財産は道徳的にも法律的にも斷じて許されない一大罪惡の結晶である。

【茨城　島根英】

ドロ幹の惡弊

本縣に於ける、讀者の數は、非常に多くなりました。二月で四百部を、賣盡す樣になりました。

農民組合の支部が邪魔をして困ることがあるが、それは幹部の五六人である。此の人達は組合の金を胡麻化して、家を建てたり等するドロ幹である。過日農民組合の幹部で、組合の金で藝妓買ひをして、監獄に入つたものがある組合員は雜誌を讀んではいけないと云つた幹部は、勞農黨中央幹部である松本、大山佐々木某等である、彼等は不德な事ばかりしてゐるから組合員は段々減つて行く

【鳥取縣　道田久】

戰ふ吾等

北海道は今、雪に埋もれてゐます。凡ての人間は皆、鶴の巣籠の樣になつてゐます。けれど吾々の同志は、此の雪を征服する様な意氣込みで解放戰の第一線で奮鬪してゐます。

札幌に於ける社會運動も、此頃に至つて漸やく、前途に光明を認めるやうになりました。

何日の運動でも吾が支局同人が第一線に起つて力戰してゐます近日演説會を開らくつもりですから、本部の諸氏の應援あらんことを御願ひします、北海道に於ける社會運動は愈々これからが、本當になります。

【札幌　大野信明】

水電と農村疲弊

永い間紛爭中の富山縣黑部川用水合口による冷水被害問題は黑部電力會社の強慾から途に血を見るに至り小作人團から數名の下獄人さへ出して越年したがこれによつて小作團の結束はいよく／＼固くなり會社側に對する反抗を強めてきた矢先、地主側から冷水被害として持込んでおいた年貢米二割減の要求を五分にせよと應酬してきたので、非常に驚き言下にこれを拒絶したこれが爲調停全く破裂し更に會社地主に、對する小作の形で睨み合となり形勢逆轉して險惡な雲行は一層深刻化してきた、調停に當つてゐた縣小作官補も一先づ手を引きその成行を傍觀するのやむなきに至つたが舟川新の小作團五十餘名は飽くまで地主や小作が、相譲らねば斷然耕地進運の上地へ共同で勞働に出稼ぎすることに申合せた。なほ地主らが小作團と協力しあくまで會社側に對抗して冷水被害になる賠償問題を圓滿に解決するの態度に出でないのは一部の地主が會社側に乘ぜられてゐるためだと云はれてゐる。

とは資本主義新聞大阪朝日石川富山版の報ずる處である。が日農黨は此機を利用して黨勢擴張の爲に奔走しつゝあるが、如く同黨中央委員吉田平治君等が運動中。名のみの電氣王國富山縣に蔓る世界金融資本の恐ろしい搾取はかくして農村を荒廢に導きつゝある。

今期の富山縣會席上に於て「櫻正宗」「人氣盛」等と云ふ粗惡なる酒を製して農民に貪り付け莫大なる利益を得つゝある、東礪波郡、縣會議員砂土居某は、福野町は兩礪の中心地で富山紡績始め工場多く犯罪事實も再三あるが警察力が手薄いので充分に檢擧することが出來ぬ、取締上不便なり、速に警察署を設置せられたし、農民黨などのやうな過激主義のものも、それであるから出來ると納相應と云へばそれまでだが、阿呆なことをホざいたので舩野町民及日農黨中の有志は近く此の酒屋の親父から聲明書を取ることにしたと云ふことが巷間に流布されてゐるが自己を選擧した郡民を犯罪者視しそして刑罰主義的な僞商鞅主義を抱く馬鹿者を今秋の縣議選擧にまくり落してやる可しと有志會議で決定した。

それから南野尻村の草高持大門宗郎といふ人は、天候不良で善良なる米の出來ないに、かてゝ加へて米檢と商人との結たくして米の檢査の程度を今秋から甲乙丙丁不の五級に分け、乙米は殆んど何程もなく、甲米は勿論零の時、丙米で年貢を取る事が出來ぬ、乙米を寄越せと吐かしたので部落民は泣く子と地頭には勝てぬと云つて泣き寢入りの次第だが地主が取らうとするのが當然で、小作が出すまいと云ふのが自然で、其處に戰ひが、要るのだが、はつきりと階級意識をつかむことの出來ぬ小ブル農民黨の小作は洞ヶ峠か日和見的な須貝快天流の百姓は困つたものだと。某進め讀者が語つた。

【富山縣　野原啓之】

必勝を期す爭議

去る一月二十四日突然市外中

●野町の浅田屋醸造工場主は職工十八名を解雇した、復職を要求したが容れられなかつたので茲に斷然ストライキを決議し、頑迷横暴なる資本家に戰鬪を宣言した。彼等は暴力團を頼んで職工を威嚇した。吾等は所屬組合の關東合同勞働組合の鬪士と演説會を開催した。彼等との鬪爭は激化した。市議團員木村氏は苦鬪の後、遂に苛政を呪ひつゝ自殺した。尊き解放戰の戰死者を出した吾が爭議團は今尚、悪戰苦鬪を續けつゝある。全國の同志諸君！悪鬼浅田工場主を葬れ吾等は必勝を期して。猛烈たる總攻撃を開始した。

新聞不買同盟

【東京　中野支局】

我々無産者の最も不快なものは、ブル新聞の横暴である。資本家の走狗であるブル新聞を膺懲するのは我々無産者の大なる使命だ。名古屋に於ける吾等の同志は一團となり。ブル新聞の不買同盟を組織した。

勞働爭議の時などは大なる虚報を掲げて恬然たる大新聞が紙面に於いて、乞食すら愧ずる様な劣行爲を演じてゐるのは實に憎みても尚、餘りある事である。無産階級は無産階級の手になる新聞を讀め！ブル新聞を不買同盟によつて倒滅せよ！ブル新聞不買同盟の、なるも、ならぬも、無産者の自覺一つである

咄！罪人製造

【名古屋　加藤一郎】

私は小學校而かも義務教育たる六ケ年を喘ぎつゝ漸くにして修めたのみの低級淺學なる一個の自由勞働者である。今私は此に天に代つて悪腐敗其の極に達せる現代の司法警察當局者に對し熱誠を注いで、以つて一言述べんと欲す。

今茲に身の毛もよだつ、人も臆む罪も無い、極惡非道の殺人罪と云ふ罪名の下に十年の鐵窓に苦役しつゝある時、正銘の犯人が出でたが、當局は周章狼狽し、之れを極秘に葬らんとせしか、天なる哉裁によい無實の罪を受けて前犯人の苦悶や又家族並に親戚知友の誠心叫ふての我法曹界の知る所とない帝都は勿論全國一般の問題となり遂に忍び得ずして、法曹界より委員を選び司法當局に向つて銘柄を打込める。當局の辨解の誤挨拶たるや實に面白い。「世上一般の想像するやうな譯にも行き兼ねる」何故ならば神ならぬ裁判官が裁く以上偶に誤判の例も止む得ぬ事と思ふ」と。然らば司法當局は眞犯人の出でし時、如何にする。有邪無邪に葬り去らんとするが如きは立法の根本義に逆る一大不詳事である。

而して只證據不十分無罪の二字により、身は晴天白日になりたりとはいへ、長年月鐵窓に繋がれし時精神的に經濟的に非常なる大打撃を蒙り終生取返しのつかぬ極地に陷り、妻は狂ひ子は罪人の子、狂人の子と東西不明の三歳の幼兒に迫られ遂に又は妻子を思ひ、貧窮の壓迫に憤慨せる餘り病を起し、母は世に忍びず入水して他界の人となり、弟妹は互に一生の浮沈とも云ふ婚期を失ひ、實に一家の悲慘其の極に達し、到底無限なる吾人の筆舌には書く能はざる所なり。

斯かゝ不人道的行爲は斷じて許すべからざるものなり。吾人は當然一身を犧牲に供して飽迄當局の誤裁を正し、法令の改正を叫び、倍償の請求せん。願くは諸兄の御援助を乞ふ。

著者は伊勢の海岸に面せる片田舎に生を受けし無智の百姓である事を附記して筆を止む。

【東京　中山穎堂】

◇　◇　◇

田吾作の辯

ソロソロ百姓も忙しくなつて來る。春風駘蕩櫻花爛慢と酒に浮かれる時、身を粉にして働く百姓程馬鹿なものは無い。――ベラボーめ、なんた愚痴をいふな、そりや相場なとこの昔から決つて居らあ。馬鹿者作の牛入でもしろ――と精々そばでチット考へた時、短い生を働いて〱、皮膚は荒れ、手足は節くれそして、貧窮に追ひ立てられるとは何と考へても、諦め、様が無い、――又始めた百姓奴貴様の様な馬鹿者が無くちや俺等は、生きて行けないわい。

俺等は米を作り麦を作る。苗から收穫まで人を嫌はず糞にまみれて働いてゐるのだ。虫を除き草を刈り、肥料を施す、そして、俺達の勞力實は結び大きな穂の報酬として重さうに垂れる。そして豊年、豊年と賑やかしく喜ぶかそれも束の間、其豊年によつての、賑ひは無智な景氣のよい俺達農民の勞力の賑ひに過ぎないのだ。いくら豊年でも亡年でも胃袋がはちや生きちや行かれぬ。米を作つて米を喰へいなんそんな、矛盾した事が何處の世界にあらう。苗の中を除けるより先づ俺達は社會の

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

虫を驅除すべきである。【高知縣 前田泰夫】

大牟田雜信

去る一月三十日麻生久、今村等氏を迎へて、第二公會堂で大牟田一般勞働組合主催の演説會を開いた。先づ組合長の小松道俊氏の開會の辭に始まり、諸氏交々起つて、三井王國の牙城へ勞働運動の鍬が喰ひつゝある事實や、既成政黨の頼むに足らざることを叫んだ來會者千餘人實に盛會であつた。處が此處に滑稽な事は、共産黨の下役、立某が今村氏の演説を野次り、會の演説を申込んだ。今村氏は早速應ずると、奴さんオヂケついたものか中途で止めて、逃げ出した。これでは、流石の共産黨の面目も丸潰れである。

續いて翌三十一日市外三ツ町中勘座で再び演説會を開催した之れ亦聽衆七百餘人。大盛會であつた。

大牟田、日勞黨委員長には元三井炭坑の技師、谷氏を推戴した。別に武久太郎氏が大牟田坑夫組合を作り、自ら組合長になり、顧問に小松道俊氏を推し日本勞働組合同盟に入いる事になつた。

大牟田に於ける。勞働運動は愈々之れからである。三井王國をして戰慄せしむる、勞働階級の叫喚は、愈々物凄くなつてきつゝある。

大牟田の勞働者は殆んど全部日本勞農黨員である。前記のやうな共産黨の下役も二、三ゐることは、ゐるが何の影響もなく勞働者から御相手にされてゐない。憐れむべきは共産黨である

【大牟田 第一支局】

勞農黨を排せ

俺、は廣く現在勞農黨を支持してゐる組合、支持せんとする組合、及組合員、一般無産者に向つて警告するものであるもしそれ現今支持しつゝあるものは速かに脱退せよ、入らんとするものは退却せよ、知らざるものは知つて、轉ばぬの杖に備へよ、それ、勞働農民黨は一口に云へばロシアの國家社會主義を奉ずる日本共産黨と云ふ操り師の使ふ操り人形に外ならぬものである。此操り師は常に人形を應用して無智な民衆を集め會費を捲上げ、[illegible]攪亂して次の豫定地に引揚げて行く、横暴極まる民衆攪亂者である、過日行はれた日本農民組合の分裂東京市聯自治會の乘取計畫等は、その攪亂事實の一つである。彼等は常に口に總聯合、單一政黨を叫びながら、或は反動と手を握り或はブルジョアーと協して常に組合をして窮地に陷入れつゝある。先づ日本農民組合長にして黨首たりし杉山元次郎の辭任、大山郁夫先生の就任幹部の除名等を見ても一目瞭然如何に共産黨が陰謀にたけて居るかを知る事が出來る、彼等は斯かる危險物には絶對に近寄つてはならぬ。

眞に無産階級を憂へ誠實たる政治運動を欲する者は之れを排せ

長野縣【久口生】

軍隊爆破？

先達、僕等の町に例の福岡聯隊爆破？と云ふ極めて穏かならぬ事件があつたと云ふ、所謂犯全國の各新聞へ仰々しく、所謂犯人？の[illegible]迄入れて書きたてられた。所が當の本人である松本治一郎氏等は今度の事件は、自分でも何が何だか、薩張り判らないと云つてゐる。私は同氏始め其他の諸君を良く知つてゐるが、兎に角、物騒極まる、[illegible]だ穏かならぬ事を企だてたものである。若しくも手は軍隊である。軍隊の爆破計畫？は少なくとも、日本軍隊始まつて以來、今日迄一度もあつたことを聞かない。

私は數年前、聯隊にゐて、水平同人が同僚から虐げられてゐる事實を見聞した。そして餘りに軍隊に於ける差別待遇の甚だしいのを見せ、獨り義憤の[illegible]を燃やしてゐた。殊に將校等の無理解ときては、全く御話にならぬ位である。今、[illegible]は、聯隊[illegible]水平社の大問題がつてゐるが、[illegible]軍隊に反感を持つのは當然だと思ふ。とは云へ、必ずしも反感を持つてゐるからとて、軍隊を破壞しやうと思つて、やつた事では無からうと思はれる。今日、資本家及[illegible]運動に附隨する[illegible]當局も、[illegible]しては極度に神經を尖らしてるから、少しの會合でもやつてゐると、それ秘密結社だの、不[illegible]計畫を企てゝゐるだのと云つて騒ぐ。社會主義者が風呂敷包いでも持つてゐると、アッ爆彈ッ！と云ふやうな、實に滑稽極まる、壓迫的に扱ふ等は、[illegible]つてゐる。

今度の軍隊爆破？事件を云ふのではないが、何日でも奴等は大騒ぎをして、[illegible]した後[illegible]々あるが、先年の共産黨事件然り、其他此の種の[illegible]々あるが餘り長くなるから、此の邊で止めることにする。

【福岡縣 龜井新一】

殖民政策裏面研究（四）

金熙明

帝國主義の殖民政策は經濟的、政治的の搾取並びに武斷的殺戮が並行するものである。

二、中世史

中世は殖民史中暗黑の時代であると云つてもいひ位い騷亂の時代であつて歐洲全土は殆んご常に侵略の戰爭が絕へず群雄諸國に割劇して虎視耽々として只權勢を振り撒くことに餘念がなかつた。因に藝術にしろ文學にしろ科學の方面に至つても著際不振の狀態で商工業も僅かに地中海の一部に行はれたのみであつた。文化を誇りし希臘ローマの文明は蕩然地を掃ふて世界は將に混亂腐敗の深淵に沈淪せんとしつゝあつた時代で當時の地中海沿域は白皙百鬼が出沒したるか如き狀態であるがその中にも商工業を立國の基礎となし植民史上に一[illegible]目を興へしはたゞ伊太利半島の諸都市があつたのみである。伊太利はローマ帝國滅亡後やはり領土が崩壞され數多の小邦となり。小邦は各自相競ふて地勢、歷史、文化の度に從ひてそれ〴〵發達をなしたがその中最も著名なるものは今私の論じやうとするフローレンス、ゼーア、ベニスの三にして之等の發達を進就せしめその前驅者と云ふべきアマルフイ及びピザに就て小考を盡すことにする。

壹、アマルフイ及ピザ

A、アマルフイ

アマルフイはローマ帝政時代の殖民地の遺跡であつたが中世紀に這入つて再び勃興した邦であつた。九世紀頃にはネープルス王國第五の都市で共和政治を布き十二世紀頃には人口五萬人を有し其屬領地には五十餘萬の人民が棲息した。海軍の强きを以て知られ土耳古人を擊破しノルマン人の十字軍を護衛して歸りたること等の功績あるが殖民地は多く東方に散在しコンスタンチノープル、アレサンドキリヤ、チニスバグダツド、サイプラス、ゼルサレム等より商業上及び、工業上の利權を取得したるものと觀ることが出來る。近世帝國主義の殖民政策に比較研究すれば、保護國として諸都市（邦）より經濟上及び政治上の搾取を行敢したものと云へる。

B、ピザ

ピザは紀元前一八〇年前頃羅馬人が殖民したるにより始まり漸次發達の一一〇〇年頃に及んだが當時アラビヤ人がサルヂユニヤに侵入する厄運に遭ひその難を避けてピザに來た基督敎徒がピザ人を激勵して終りにピザ、西班牙、の聯合軍を以て亞剌比亞人を攻めサルヂユヤを、回復し之を兩者が分配して、而してピザ人は度々十字軍に從ひて東方諸邦に往來しコンスタンチノープル、アンチヤツク、シリア島に殖民しルコシカ、エルバレアリツク等の諸島にも殖民を行つて、當時二百年の間ピザは商工業の隆盛を見海軍の勢力之に匹敵するものはたゞゼノア人を除いては他になかつた故に諸貴族富者は互資を投じて遠征隊を組織し各地に派遣し海外弱小領地及び民族より物貨を掠奪したるが如きは後世に於ける英國が地中海に於ける海賊船を以て各國の物貨を强奪したるが如きに、この方法はほゞ似てゐると云ひ得る。なほかゝる、橫暴な侵奪振りに憤慨して當時ピザの競爭者でありしゼノアの奮起した之に依り一二八四年いまゝでの小競台より俄然戰端を開き七十二艘のピザ軍艦と五十八艘のゼノア艦隊がメロリヤ島海岸に於て衝突し忽ち大激戰を見るに至つたがその結果ピザ人大敗し一萬六千人の人を失ひ一萬一千人が捕へられ沈沒を免れたる二十九艘の軍艦は悉くゼノアに押收せられたるによりピザは獨立、を失つたのは勿論諸殖民地も自然瓦解するに至つた。

二、フロレンス

フロレンスがその殖民地に取つた諸政策中殊に商業政策は一顧を要するほどの巧妙さを有して居るが元より國際的の經濟學が普及されず貿易盛衰の性方を知らざりし彼等が後世に於ける所謂保護貿易主義を採用してその殖民地に臨みしは驚かざるを得ないものがある、いま彼等取りし商業政策を述ぶれば即ち左の如くである。

一、獨占を以て貿易の第一義として競爭者の其間に入るを許さず不和の手段を以て其競爭者を壓倒するを得ざれば干渉に訴へて之を討滅せんとしたりされば當時屢々行はれたる戰爭は大抵商業保護のための戰爭なりしものである。

一、輸出品は課稅した。

一、外國に於て其國の商人と同一の權利を得んことを欲し其目的を達せんがためには種々の手段か探ることを辭せずしかしてその代表者を派遣して自國商人の保護に任ぜしめた。

一、他國の粗製原料を輸入し之を精製して更に他國に輸出するを致利の第一義とした

右のやうなものでこの政策は近世の重商主義的殖民に似たものであるがこの主義によりフロレンスは多大なる國富を作り大成功を博したものである。

三、ゼノア

ゼノアは植民史上の役割な地位を占める立場にある國であるが結果的に論じて植民史上ゼノアは不遇な立場にある國であつた。ゼノアは海上に於ける當時の大勢力を掌握し之に依りて前項に述べたる如くピザ人を多數殺傷し物貨車用品を押收したるに依りサルチユヤの一部を領しコルシカカプラジヤを侵略し一〇三八年頃には其勢力を亞佛利加の南岸にまで伸張した。ゼノアはピザと爭ひをるのみならずフンダースと戰ひ一二六一年

にコンスタンチノープルを攻掠し掠奪品をゼノア市民に分配し又スミルナ港を占領してカフハ港を開き黒海の主權を握りまたベニスとも爭鬪が斷へなかつたがゼノアは遂ひにベニスのため、滅亡の悲運に失かなければならなかつた。かくしてゼノアは戰爭に依る海上權の獲得商工業の隆盛、貿易上の頻繁を以て殖民政策の裏面を探ぐることが可能であるがゼノアの盛時を回想すればフロレンス、ピザ、ベニス、等に對し遜色なく、小亞細亞に於ては印度其他の亞細亞人と交通し亞弗利加の海岸西班牙地海州諸島にも數多の殖民地を有しての商船は遠く佛蘭西、英吉利和蘭等々にまで通商貿易を交はしたものであつた一度ベニスのために敗られて其殖民地い多くを失ひその勢力も全く沈淪し十五世紀終まで兎角その餘喘を保つたが遂ひに諸外國の權力の下にその獨立を失ひ自ら他國の殖民地と領屬したるが如きは殖民地の裏面研究者に取つて最も皮肉な興味ある事實である。

四、ベニス

黒海の商權を掌握し通商貿易を國際的に攬めたゼノアを侵略した當時のベニスは之また壯觀を呈した勢力を海外に伸張しつゝあつたけれども、第四十字軍の起りたる頃は、ビザンチン朝廷の綱紀紊亂しコンスタンノープルの都は常に暗雲漠々として逆殺謀叛相次で起りその騷亂が極度に達した有樣であつた。ベニスの大統領(ドージ)ダンドローは此間に乘じフランダースのボルトウイン一世を助けて王位に登らめし其報酬としてコンスタンチノ!プルの八分の三及ルーマニヤ、ラジス、ニコポリス、ヘラクリヤ、ドストー、ニコメチヤ、ガリポリー、アデリアノープル、エボニヤ、希臘、ペロポンネサス半島の一部ダルマチヤの海岸アイオニヤ海の諸島等を其領有に歸せしめなほクリート島を買收して其勢力を擴張し兵力を重加して延長せる諸殖民地を守衛した。

如斯うにしてベニスがその領土に占領した諸殖民地に對する諸政策中重なる商業政策はやはり極端なる、保護政策を以つて獨占を以て諸競爭者を壓倒せんことに務めた即ち

一、斷へず軍艦をして海上を巡邏せしめ外國人が貨物を輸出せんとするを見れば之に二倍の運賃を支拂はしめた

一、ベニス領の港灣に於ては船舶の建造及船の賣買を禁じた。

一、貨物の平價を保つことに熱心したために其技術の外國に傳はるを恐み職工の移轉を禁じた

しかして內國に於ては製鹽鑛業漁業、硝子製造等を始めとし武具・皮革、布綿、蠟、砂糖酒類黄金細工等の製造業が非常に盛大となり、その首府は人口凡廿萬人民が悉皆富裕の生活をなし十五世紀の末葉其富力はローマを除ては比類を見なかつたしかしながら十六世紀が世界の大勢に大變動を起さめたことは今更いふまでもなく新大陸の發見と共に覺醒し勃興したる歐州各國の太平洋上の大活動は世界の歴史に於て最も目ざましき地位を占むるであらうしかしてベニスは此時を以て漸く衰運に向ひ僅かに其名のみを十八世紀まで保つたがその實は已に史上より葬られて行く運命の道にあつたのもゼノアを始め諸殖民地の興亡史に較べて面白くはないか。

五、古中代の比較研究

以上述べたる、古代及び中世に於ける殖民政策小史は甚だ不徹底に亘り筆者自らの參考の便にさへ役立たないものであることに氣着、差る次第であるが筆者は各國に於ける殖民史の歴史的及び地理的の研究をなしたるものにあらず、單にその政策のみに就て從斷的觀察したものに過ぎないことを斷つてをくと同時に本書の性質上よりしてもそれ以上の研究を要とせざるものと思つて特に斷つてをく。

殖民政策を古代及び中世に亘つて史的に概觀したる處に依りて我等は一層能く殖民地問題の世界戰史に興へる重要性と戰爭の羅馬帝國の旺盛滅亡の幻影の如き人類權勢を知ることが出來た。そこで茲に我らが氣付かなければならない點を一層詳かに比較すれば古代殖民政策が如何に無鐵砲無考慮な英雄主義を根底にしたる權力闘爭上の侵略方法であるかを知りしかも、中世の商業政策主義に比して開墾農業方面を政策として取り入れた點である。しかして中世に於ける諸政策は古代のそれに比し稍々國家的政治的背景を主とし之がために武力を振廻したのは前者の意味と異る點がある。なほ前者の農業政策主義に比し後者の商業政策主義は自然陶汰と人爲的の農業振興の結果人智の發達交通の開發等に依る自然の進化の法則と見ることが出來る。

殖民政策が近世帝國主義の諸政策に見る如く軍國主義政治的資本主義經濟的に依る帝國主義の搾取の手段を以てするやうになつたのは中世の末葉即ち十六世紀に於ける產業革命を始め新大陸の發見等に刺戟されたのは古代並に中世のそれに比し同一なる法則に依つたものとは云ふものゝその間に於ける殺戮と搾取の虐遇經過したる諸民族のその數は果して何千萬の數を以て算するであらうか。私は此の章を了るに際し再び云はん。あらゆる殖民政策は經濟的政治的の搾取並に武斷的殺戮が並行したものであることを。

―(續く)―

飢

あゝ飢ゑ!
飢ゑは俺を倒さんとしてる
街頭に溢れる同僚即ち我と
共に飢に取く

× ×

飢ゑ!俺は飢の社會に投げ出
されてより既に半歲
今尚飢に戰く
あゝ俺の飢解決の日や何日
ぞ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

自作農創定と社會主義

――「マルクス主義」の舟橋〃氏に――

神庭仲之介

一

私はマルクス主義一月號に發表された舟橋雄氏の「吾々は今自作農創定案を如何にして曝露すべきか？」を批判しつゝ私の所論を展開して行かう。即ち此の舟橋氏等の論説は、昨年十月號の「マルクス主義」に北浦千太郎氏の書かれた「地價政策の批判」から源を發してゐるものゝ如くであつて、すでに十一月十二月號と和田氏對北浦氏の論戰辨駁あつたものゝ如くである。ところが「マルクス主義」一月號に於いて、突如舟橋氏出でられて和田氏と個人共同戰線に立たれたと觀取された。吾人は不幸にして、同誌十一十二兩號を讀む機會を失つてゐた爲めに、論戰の展開過程をつまびらかに見る事は出來なかつたけれども、舟橋氏等の今回の發表を讀みて、正に救ふべからざる愚論を、「マルクス主義」一流の「問題は進展する」「全般的把握」「政治的曝露」等の模倣熟語をもつて粉飾し、自らマルクス主義者なりと得々としてゐられるのを見て噴飯に堪へざるものに思はしめた。それ程、舟橋氏及び和田氏の論策が觀念的捏造の範圍を脱してをらない架空の辯である。私は氏等の理論の何たるやを解剖して見やうと思ふ。しかし、かく云へばとて吾人は決して北浦氏を辯護するにあらざる事は勿論だ。

二

「進め」誌の限られた紙面をもつて批判せねばならないから、絶對的に簡單なるを要する。しかし、簡單にとは云へ讀者にして「マルクス主義」を讀まざる人もあるだらうから、この點も酌量して一見明瞭に展開させねばならない。

三

此の論戰の劈頭は、自作農創定案制定の社會的根據に關する見解の相異による火花を見る。即ち北浦千太郎氏は該案成立の社會的根據を、小作爭議による土地價格の下落と見られ、土地價格の下落によつて深き經濟的打撃を受くる地主等の、自ら進んで土地を賣却して、他へ資本を投ぜんとする、最も陰險な搾取の一手段であるとされた。

これに對して舟橋氏は、「北浦氏の如く、單純に地價の下落と云ふ經濟現象にのみその社會的根據を見出す事は、餘りにも狹いそして片面的な見解であると云はざるを得ない」とされ、「吾々は和田氏と共に、その社會的根據を、沒落過程、切迫せる形勢に當面せる支配階級の地位に見出す者である。だがしかし吾々は和田氏よりも吾國支配階級の現在の地位を更に明確にしなければならない」

即ち論者によれば、自作創定案成立の社會的根據をして吾國支配階級の崩壞期に切迫せる地位となし、彼等は自作農創定及び小作法及び小作組合法等の經濟的讓歩を爲し、民衆を政治的に欺瞞せんとすると説く。

氏は、「政府は現在の搾取制度を維持し發展さす爲めに、農民階級に若干の經濟的讓歩をする事によつて農民を政治的に欺瞞し、獲得せんとしてゐる」と説いて、自作農創定案をもつて、無産階級に對する「經濟的讓歩」と見做す。即ち支配階級の自發的志によつて無産階級への攻勢を靜止し、若しくは其の退却なりと斷づる。果して然りであらうか。吾人は自作農創定をもつて、決して「經濟的讓歩」であるとは見ないのである。むしろ搾取の爲めの露骨なる挑戰であると見る。亦無産階級が社會主義へ向はんとするのを阻止せんが爲めの挑戰であると見る。なぜなら、この自作農創定案なるものは、小作法とか小作組合法とかに反して、其の本質が社會主義的理想に全然背馳するものだからである。小作法とか小作組合法とかは、先きに見たるが如く其の完成すればするだけ社會主義に近づくものであるが、自作農創定案は、それに反して完成に近づけば近づくだけ社會主義に背馳する。かゝる案は支配階級の讓歩ではなく、徹底的搾取を意味すると思ふ。

この點においては「然し實際においては自作農創定は經濟的讓歩ではなく、搾取の増大の一手段である事は、既に十月號で僕は論破した所である」とする北浦氏に共鳴する。

洵に自作農創定案は土地への愛着を深く有する農民の弱點を摑んで、搾取の増大を圖る企圖の上に立てられてゐる。即ち、聲を大にして土地價格の釣上げを策し、文字通り農民に摑ませて、自らは他の有利なる事業に參加せんとするのだ。これが搾取で無くて何であらう。而して彼等は農民をして社會主義より專念離別させんと企圖しつゝある。

四

舟橋氏は極力自作農創定案をもつて搾取ではなく讓歩であると云はれる。何故か。吾人は檢討せねばならぬ。讀み行くにつれて舟橋氏の皮相の見解に至る所に突留る事が出來る。舟橋氏は北浦氏の小作人資金を政府から借入れて自作農になれば、償還期間の二十四年間はその土地を低當に入れる事も、亦手離す事も出來ないから、金利三步でさへ引合はない經營を、三步五厘で二十四年間苦しい經營を續けて二進も三進も行かなくなる許りである、と論じた事を難じて、皮相の見解の高潮

に逹しられつゝある。即ち、氏によればどうせ農業は引合はないから低利資金を借りたから、或ひは借らないで小作してゐるからといふので異つて來る問題ではなからう。と「小作人にとつての問題は、小作料を納めるよりも、三分五厘の利子を支拂ふ方が經濟的に利益が多いか少ないかといふ事によつて決定されるではなからうか。假りに一石三十五圓の小作料を納めてゐる田を、千圓で買つて三歩五厘の利子を支拂ふとすれば經濟的には損得なしである。それだから自作農創定が搾取增大の一手段たり得るのは、千圓以上で田が買れた時である」と

笑ふべし。この見解

舟橋氏によれば、自作創定が搾取増大の一手段たり得るのは千圓以上で田が買れた時だけで千圓以下で買つてゐるなら、搾取されてゐない。損徳なしであると。千圓以下で賣つたなら、農民は損をしない、支配階級は讓歩したとの論旨は一體どうしてであらうか。成程、千圓で田を買ひ年に三歩五厘の利子を支拂ふとして、從來の小作料が三十五圓であるならば表面上、農民は損徳は無い樣に見へる。小作人も一躍して田地持ちとなれる譯だ。しかし、問題は償還期間の二十四年間にやつて行けるかに就いてである。小作人時代より思はざる費用例へば交際費など入要になつて來る事は少なくとも農村の事情を知つてゐる農村の人なら充分うなづける事である。自作農[illegible]が[illegible]滅亡して行く事實[illegible]しても前途は悲觀にとざされてゐる。假之、地主は今迄充分な程土地によつて儲けておいて、一旦景氣が惡くなると高い値段で小作人に賣つけて、自分は商工業に投資する。商工業が農村を搾取するといふ事はすでにして議論の餘地は無い。農民は土地を高く賣りつけられ、地主をして赤い舌を出させ、その地主によつて今度は商工業の方面から搾取されては全く立つ瀬がないではないか。吾人はあくまで自作農創定案をもつて搾取增大の一手段と見、「經濟的讓歩」なる見解は全然皮相の、亦はいちじるしくかけ離れたものである事を信ずる。もし「自作農創定案が搾取增大の一手段であるなら、僅かな三百萬圓の金より二億も三億も出したらいゝでは無いか」と、舟橋氏は疑問を抱かれる。

吾人はこの疑問に就いて少しく說明しよう。即ち自作農案が搾取の增大を圖るものであるから、支配階級が其の完全を望んでゐる事は事實である。しかし支配階級と雖も、近時擡頭せる無産階級の自覺を輕々しくは見ない爲め姑息な欺瞞政策も効を奏しない事を知つてゐる。自作農創定案は今の所小手調べに無産階級の中に這入り込んで行つたと見られるべきである。もし自作農創定の小手調べが[illegible]良[illegible]效果をおさめたなら、支配階級は今後[illegible]濟策として全力をそゝぐに至るであらう。

五

著しき自然的發展を受けつゝある農村資本主義の、都市資本主義に比較しての急激な經濟化は、小作[illegible]の擴大、及び事變の前夜に起るぼんやりした不安な氣分をともなひつゝ、地價の下落を促しつゝある。かゝる事情が自作農創定案の社會的根據である。元來地價そのものは、階級對立と共にこの世に現れたものである。それ以前においては決して地價の如きは存在しなかつた即ち、地價それ自身がすでにして一階級社會の産物である事を知らねばならぬ。吾々マルクス主義者は、地價の如き存在無き社會へ進み行くものであるから、舟橋氏の如く、地價の下落を無意識的に防ぐ、自作農案を「經濟的讓歩」なりと斷つ如き愚[illegible]じてはならぬ。何故か、即ち、自[illegible]策し、一方農民が地價[illegible]賣却する事によつて搾取せんとしてゐるものを「經濟的讓歩」なりと思はるゝは、地價の下落を無意識的に妨げられ、引いて、農民が千圓以上で土地を買つた時でなければ搾取されないなどゝ論じられたに於いては、氏の頭腦の健康をうたがはざるを得ない。

八

舟橋氏は「經濟的讓歩」と「政治的讓歩」に就いて左の如き見をもたれる。「搾取の增大——これは支配階級の根本目的であらう。然し、搾取を可能ならしむるものは政治的力である。搾取が多いか少ないかと云ふ問題は、政治的な力の問題に較ぶれば、第二義的問題でしかあり得ない。政治的力を強固にする爲めに搾取が犠牲にされるといふ事にはそんなに首肯し難い事であるだらうか（中略）政治的欺瞞を行ふ爲めに、經濟的讓歩をするのだ——と。

氏によれば、政治的力を强固にさへすれば、搾取を犠牲にしてもブルジョア社會は存續する。吾々は政治的欺瞞は經濟的搾取と密接不離な關係にありと信ずるが故に、氏の如く搾取を犠牲にするが如き政治的欺瞞を考へる事は出來ない。ブルジョア社會は搾取關係を前提とするが故に、それを統成する政治も搾取關係と共に移動すべきものと思ふ。

七

[illegible]法する。私は小作法や小作[illegible]法と、自作農創定案とは支配階級的[illegible]異ると思ふ。前者は[illegible]であり、後者は[illegible]る地主の[illegible]見である。何故なら[illegible]の[illegible]會主義に[illegible]すのに反して、後者は[illegible]義に反するからである。[illegible]も後者も共に「經濟的讓歩」であるとなす如きは、[illegible]しき皮相の見であると云はざるを得ない。

もし、氏の如く小作法と共に自作農創立案を「經濟的讓歩」であると爲すならば次の如くなる。

鈴ケ森だより

死を恐るゝ勿れ

同人吉田瀰藏君は二月上旬同氏の令妹が反動主義者に暴行されんとするや、格鬪してこれを捺補した、此勇敢こそやがて大事を決行するに見る、反動を鬪ひ取れ反動を潰せ、更らに□□を奪ひ取れ戰士の使命は戰のみだ、[illegible]を恐るゝ勿れ、卑怯なる者は語るに非らず、戰士よ、勇敢なれ、健鬪よ、

（平田）

断想

■今日程、無產階級陣營内に於いて、同志打ちの激烈な時は恐らくなからう。やれ右傾だ。やれ、左傾だやれ中間だ、加ふるに、文士—文士—の政治運動、社會運動云々と醜の醜の醜を操返して居る。一體同じ陣營内で、而かも大敵を眼前に控へながら徒らに蝸牛角上の爭をするなんて眞に吾無產階級を思ふ奴の所爲だらうか。天下を取つて終つたなら兎も角これから總攻擊しやうと云ふ先天、何と云ふ盲目的行爲であらう、殊に何にも明らない文士迄か文句を云ふなんて全く癪だ、正しい吾々の運動が彼等の爲めに非常に多くの誤解を招いて居る。然し全國の讀者諸君！吾等の進路は常に一定して居る。理想に內つて一直線に進まねばならぬ其處には何の濁りの無い何の混合物をも含まない終始一貫した、淸い正しい思想の流があるのみだ。

■赫々たる光は吾等の正しき理想である。燃々たる焰の如き熱は吾等の堅固な意志である、天馬空を行くが如き氣槪は吾等の潑剌たる戰鬪力である。諸君は正しき道を踏んで理想に猛進せよ。一切の害毒を排除し先づ自己の戰線より整理して進め、吾等の理想はたゞ一つのみである。

■次に全國の讀者諸君殊に農民諸君に一言呈す今や諸君は幸にして其右手を拾ひ得た。然し未だ左手の拾ふ事を忘れて居る何故なれば諸君は普通勞働者に關する問題にのみ沒頭して、窮迫せる今日の農民に關しては何等の思慮を與へて居らぬ今や農村は、危急存亡の秋である。若し夫れ一度諸君は都會と農村とを對照したる時如何に其懸隔の甚しきかを發見するであらう先づ現今の農村が余りに保守的で、非資本主義的である事を見出す次に現代の農民が甚だしく農業を忌避して居る事を知るであらう然して農民の生活が如何に切迫せるか、不安な狀態に置かれて居る事を發見するであらう此に於てか諸君は農民の離村轉職、土地の荒廢農村の不振等の原因は明らかに現社會制度の缺陷、矛盾不合理とにある事を知るであらう而して鯉が水に於けるが如く吾等にとつて農は寶である故に諸君は必らずや農村問題に對しても十分の研究と努力をせねばならぬ。

（工藤）

政治の醜陋

■既成ブルジョア政黨に依つて行はれつゝある、政治の醜劣なることを、今度程露骨に見せつけられた事はない。所謂三派妥協とかの奥の手の鮮かなるには開いた口が塞がらない。盛んに口角泡を飛ばしてゐた與黨も野黨も共に口を拭つてケロリとしてゐる、醜劣さには、流石の善良なる國民も愛想を盡かすだらうぢやないか

（藤井）

戰鬪精神に燃へよ

■再び春訪れて來た、暖國は梅の盛りであるとか、やがて北國の空も暖かになる事であらう北國の人はよく見るであらう白雪を拔いて廟へ出づる青い草の芽、やはらかな芽の草にすら、この勇氣、この戰鬪精神がある萌え出でん爲には雪の寒さと鬪ふのである無產階級が[illegible]を求むるは生きんが爲めである。全國にあまねき雲霞の如き進めの同志諸君、奮鬪の春は來れり。

—支那國民軍の奮鬪は近來の快事だ行く所なびかざるなし。その勇氣で支那の利權にむらがる帝國主義者を追放すべし世界地圖の上に次第〳〵に自覺の旗のなびく範圍が擴大するのも嬉しい。日本の若き青年の工場に、農村に、山岳に、大海の孤島に、互に持場を守り進め！進め！

■敵は資本主義であつて味方には無い筈だ、味方の陣營に陰謀は禁物。もしかゝる禁斷の謀みをもつ者あらば先づ軍門の血祭とせよ

（大阪　神庭）

行動

■僕等の意志は飽迄も戰はんとする。今日の社會主義者は凡て理屈さへ云つて居れば良い樣に思つてゐる。即ち辨證法的發展だとか、理論鬪爭だとかの、一般勞働階級には何のことやら薩張り判らないやうなことばかり並べて得意になつてゐる勿論理論鬪爭もしなければいけないだらう、辨證法的斷察も下さなければならないだらう。が然しだ、一般勞働階級を相手にすべき、又それの機關紙とすべき無產者新聞等に辨證法的理論を麗々しく並べるには[illegible]ばんではないか。

■僕等は勞働階級に判らないやうな六ケ敷い理論を並べて得意になつてゐるやうな者の愚かさを斷じて繰り返してはいけない。「進め」は此の點に於いて正に日本に於ける唯一の而かも完全なる勞働階級の機關誌を以つて自任する

■勞働階級は、常に燃ゆるが如き意志の下に行動しなくてはならない。徒らなる理論鬪爭のみに耳を藉すべきではない。僕等は行動をモットーとして第一線に邁進することを、全國の同志諸君に告げる全國の同志諸君が彼の辨證法的理論を弄んで得々としてゐる福本一派を吾が解放戰の爲に葬れー

（上村）

勞働運動講座

英國の勞働運動(完)

淺野研眞

第六節　勞働黨(續き)

二、大戰の影響

かくする間に一九一四年七月世界大戰は勃發した。英國は獨逸の白耳義侵略を名として之に參加した、勞働黨は然し非戰論の立場を取つた。されど一般勞働大衆はむしろ『擧國一致』とか『歐洲の危機』とか『獨逸打つべし』の言葉の方に醉はされてゐた。茲に於てか、勞働黨も遂に同年八月七日、政府の戰費採決に何等抗議を試みざるに至つた。且つ八月二十四日に至り、勞働黨及び勞働組合の代表者の會合に於て、次の如き『産業上の休戰條約』の決議が通過した。曰く――

「すべての現在の勞働爭議を止めさせる爲めに直ちに適當なる措置を取り、且つ新たなる爭議が戰時中に發生した時には、何時にても、すべての關係者は強力仲裁和解の方法を講じ、之をしてストライキ又は工場閉鎖手段に出でしめざることを要する」

と。而して實際に斯る休戰狀態は一九一七年まで續けられた。

一方、參戰後の英國は一九一五年五月、アスキスを首相とする『所謂擧國一致』の聯合内閣が組織された。この内閣に勞働黨側からは時の勞働黨總理アーサー・ヘンダーソンが文部大臣として抗夫聯合代表のウイリアム・ブレースが内務大臣として、また植字工組合代表のロバーツが大藏大臣として、其々入閣した。次いで翌一九一六年十二月のロイドジョージを首相とする軍事内閣にはヘンダーソンが軍事大臣として、また熔鋼工組合代表のジョンホッヂが同年新設の勞働者に最初の勞働大臣として其々就任した。また一九一七年の夏にはヘンダーソンが英國大使としてロシアに赴任し、次いで機械工組合代表のバーンズが之に代つて渡露した。又一九一八年七月には、瓦斯工組合代表のクラインズが、食糧管理長官に就任した。

かうして大戰中の英國勞働運動は、大體に於て妥協政策の下に過ごされた。然し幾分勞働政策の實現は之を企てた。

三、勞働内閣の出現

勞働黨の上述の如き發達は次に勞働内閣の出現にまで至つたのである。即ち、一九二四年一月に至り、ラムゼー・マクドナルドを首相とする英國最初の勞働内閣が組織された。そして閣員にはそれぞれ勞働黨の幹部とも云ふべき人々が連ることになつた。即ち鐵道從業員組合のトーマスは殖民大臣に、抗夫聯合會のウオルシュは陸軍大臣に、獨立勞働黨のスノーデンは大藏大臣に、一般勞働者組合のロバート・クラインズ(紡績工)は國璽大臣に、鑄物工のアーサー・ヘンダーソンは、内務大臣に、紡績工組合のトーマス・ショウは勞働大臣に、フエビアン協會のシドニー・ウエッブは商務大臣に、抗夫聯合會のハートションは遞信大臣に、獨立勞働黨のジョン・ホイットリーは保健大臣に、抗夫聯合會のウイリアム・アダムソンは蘇格蘭大臣に、獨立勞働黨トレヴエリアンは文部大臣に、地方勞働黨のバクストンは農務大臣に、獨立勞働黨のジョエットは工務大臣に、獨立勞働黨のウエッジウッドはランカスター公領大臣に其々就任した。尚はマーガレット・ボンドフイールド孃が、勞働次官に擧げられ、最初の婦人次官となつた。

この勞働内閣は所謂『平和なる革命』として、相當の刺激を世界に與へたもので、プロレタリア運動の異彩あるものであつた。勞働黨政府は先づ最初にソビエットロシアを承認し、次いでシンガポール軍港の建造を中止し、更にアフガニスタンに對する攻撃準備を、徹底し進んで印度に於けるガンディー一派の獨立運動に對して極めて寛大なる態度に出でた。

然るに一九二四年八月、勞働内閣がロシア代表ラコウスキーと締結した十八ヶ條の一般條約なるものが、保守黨、自由黨及び實業會議所などの猛烈なる反對を受けた。おまけに『勞働者週報』記者キヤベルの、朝憲紊亂の嫌疑が起り、勞働内閣は一層攻撃の的となつた。かくて十月に至つたがジノビエフ書翰事件のために、勞働内閣は益々不利の立場に陷り、解散後の總選擧に於ては、保守黨の大勝となつた。かくて同年十一月四日勞働内閣は辭表を呈出し、次いで保守黨の組閣を見るに至つた。

第七節　最近の狀勢

一、英國社會黨

また一九一一年には英國社會黨が生れた。此は一九〇八年に社會民主黨と改稱した社會民主同盟、及び獨立勞働黨其他の急進分子によつて組織されたものであつて、その綱領は、半ば社會民主主義的で半ば革命的勞働組合主義的であつた。一九一七年には、勞働黨に加盟した。

然し一九一七年十一月のロシア革命には盛んに之を謳歌し、次いで一九一九年の大會に於ては、第二インタナショナルを脱退して第三インタナショナルに加盟することが決議された。

二、其他の政黨

また一九〇三年に社會民主同盟から脱黨した格闘の黨員によつて、社會主義勞働黨が組織された。これは初め米國のI・W・Wの流れを汲んだが後ちにはボルシエビズムを奉ずるに至つた。

また一九〇五年には、大社會黨なるものが、社會民主同盟から分離したロンドン派によつて組織された此はマルクス主義を奉じた。

此外、特筆すべきものに、國ギルド聯盟なるものがあるこれはフエビアン協會から脱退せる左翼によつて組織されたものであつて、その主唱者はコールメローなどである

三、英國共產黨

一九二〇年には、英國共產黨が組織された。この組織の中心となつたものは、英國社會黨であつてこれに社會民主黨、獨立勞働黨、全國ギルド聯盟、社會主義勞働黨大英社會黨などの左派の有志が參加した。この黨は英國に於ける左翼を代表する小數派運動である。

四、總同盟罷業

一九二六年五月四日は英國全土に亘る未曾有の總同盟罷業が勃發したその原因は炭抗夫と炭抗主との爭議であつたが、之に勞働組合會議が同情罷業を決議したので、全國的な大罷業となつたのである。

即ち爭議に參加した、組合は、炭抗夫聯合會を初め、鐵道從業員、運輸勞働、機械工、製鐵工、印刷工、建築工、造船勞働組合などで、その全人員は、實に三百八十萬の多數を以つて稱せられた。

この爭議は政府の調停のために一時妥協が成立したが、その依つて來る深き此の炭抗爭議は、いはゆる英國社會の癌であつて、一朝一夕に解決さるべきものではない。まして勞働組合が、今や『國家內の一國家』として發展しつゝある今日に於てをやである。

世界最大の資本主義國家たる英國は、今や正に自分自身の處置に窮し來たつてゐる。尨大なる殖民地はその母國を離脱せんとしつゝある。大英國は、何處へ行くか? それは只、社會進化の歷史的必然の法則のみが、その針路を指示し得るものであらう。

吾々は以上を以て、甚だ簡單乍ら、英國の勞働運動の史的管見を終る。專門的細說に至つては之を別の機會にゆづることとする。

(次は佛蘭西の勞働運動を述べる)

(二十七頁より續く)

即ち、小作法と自作農創定案とは、共に經濟的讓步である から、共にはつきりした階級意識をもつて其の不完全乍らもブルジョアーの讓步を領有してもいゝ譯である。而して小農民の自覺によつて小作法も自作農案も完全になつたとする。小作法は完成すれば社會主義に近づき、自作農創定は依然として個人主義的社會へ近寄る。それは進步でなくして退步である。無產階級を解放へ導くのは××××××××××××。

自作農創定案と小作法とは目的本質を異にし、事實においても反撥する。吾人はかくして、自作農創定案を曝露する事が出來た。支配階級が漸く出しかける小作法と、積極的に出す自作農創定案とを見分ける事も出來ない程の低能振りには流石は辨證法の徒よと感心せざるを得ない(完)

會計係より

二月號は本社に一部もなくなる程、賣り盡して了つた。然し地方の讀者で誌代を拂込まない者は、可なりある。誌代切れになつてゐる讀者に對しては、本月號切りで、發送を停止する。支局の諸君も成るべく、毎月誠實に拂込んで貰ひたい。

會、會計に關する注意條項を左に掲ぐる。

一、誌代に關する問合せ及び、雜誌、パンフレツト等の注文書には必ず傍に會計係と明記する事。

二、本社は集金郵便を一切取扱はない事。

三、住所、氏名を明瞭に書く事。

四、見本の申込に對しては、一部だけ希望に應ずる。

五、誌代の拂込は成可く振替によられたし、振替の都合惡しき場合、若しくは僻地の者は五厘又は二錢切手を用ふる事。

六、振替用紙の記事記載欄には、注文のものを明瞭に書く事。

新刊紹介

農民(農民解放戰鬪雜誌)

三月號、農民解放の第一線に猛進する、勇敢なる階級戰士の手によつて生み出されつゝあるものである。農民は勿論勞働者も一讀するの必要がある。(價拾五錢)東京府下大井町南濱川一八九〇農民社)

マルクスの階級鬪爭理論

(原著ハインリツヒクノー、平野義太郎譯)マルクスの國家理論及び民族論等を收めてある。社會問題を論じマルクスを知らんとする者の讀まざるべからざる書である。(價六拾錢東京神田區駿河臺西紅梅町一二、同人社振替東京二七〇六五)

帝國主義の經濟的基礎

(原著ミハエルパブロキツチ上田茂樹譯)帝國主義に關するマルクス派及ヒルフアーディング、カウツキー、レーニンの學說を系統的に紹介したものである(價壹圓東京牛込早稻田大學前通、叢文社振替東京六〇六九三)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

殺されに行つた娘達（一幕）

――資本主義は殺人罪を犯してゐる――

行村義雄

父。
兄。
静江。（登場せざる松子の姉）

――静江、病床に臥たはる。その側に黙念と、兄座してゐる。

――父。慌て、登場する。

父。おい、静江、喜こんでくれ。工場からお前へ見舞が来た。五圓の爲替が入れてある。

静江。…………。

兄。馬鹿にしてやがるたつた五圓で、人殺しの責任を逃れ様と思つてゐるんだ。

父。…………可哀さうな病人の静江を喜こばしてやつたのに……

兄。ふん、五圓……たつた五圓で、こつちが文句を言はないからとおもつて、うやむやにし様としてゐるんだ。静江が既に元の體になれないから、これでも仕方なしに、法律の網をくゞる必要上、よこして来たんだ。

父。お前のはいつもそれだ。馬鹿！どこに工場を恨む理由があるのだ。俺はお前を、そんな判らずやにするために、汽車賃の十圓もかゝる遠い東京へわざ／＼行かしたんぢやないのだぞ……。

兄。搾つて／＼搾り抜いて、自分の懐へ温もれば、たとへ死んで了つても知らん顔をしてゐる資本家が悪いからだ。

父。工場がどこが悪い。工場は吾々貧乏人の救ひの神様ぢやないか。こんな貧乏しても静江や松子を使つて下さるから生きて行かれるのだ。静江が病氣になつたのは、静江が弱いからなのだ。

兄。だい一、根本の社會組織が悪いのだ。現在では、あんたの言ふ通りさうでもしなければ貧乏人は生きて行かれない。たとへ殺されても資本家へしがみついてゐなければならない。然し、いつまでもこんな社會が續くものだと思つておればあてがはづれるんだ。近い將來に於て、きつと資本主義は滅亡するんだ。吾々が信ずる理想社會の出現は最近い將來にあるんだ

父。おい、お前は恐ろしい人間になつたなあ。

兄。ふん。何が恐ろしい。當り前ぢやないか。俺は正義の味方なんだ。俺は現在の様な不當な社會組織には大反對なのだ。

父。…………。

兄。この工場だつて、さうぢやないか。搾り取つた揚句たとへ病氣になろうが、死んで了はうが、それはどうでもいゝんだ。たゞ自分さへ都合がよければ……それが現在の不合理な資本主義社會なのだ。あまり人を馬鹿しすぎる。永い間知らん顔をして、今やつと見舞をよこす。それに、直接訪問するのなら未だしも、郵便で、しかも、見舞状だつて活版ぢやないか。

父。もう止めてくれ。お前がまさか、そんな方面へ成功してゐるのだとは思はなかつた。もう何も云ふまい。みんな俺が悪かつたからだ。お前をそんな人間にする心算ぢやなかつたのだが……

兄。ふん、そんな事を云ふ様だから、いつまでも、同じ階級であり乍ら吾々の主張をさまたげるのだ。だから、いつまでも貧乏人として苦しまなければならないのだ。少し自覺しなくちや駄目だ。不幸な貧乏人をなくするために、貧乏人自身が、解放の戦線に立たなくちや、いつまでたつても、苦しみつゞけるのだ。

――静江　苦しさうに寝返りする――

父。…………おい、静江が悪いらしい。

兄。…………うん。あまり興奮したのでこたえたんだな。

――沈默――

父。その、さうと、松子に電報を打たうぢやないか。

兄。電報なら、とうに打つてあるんだ。あんたゞから、姉が死ぬる生きるにどうでもいゝ、些とでも餘計に働らかせよう。搾つて貰つて資本家を肥してやろう…………で、いつまでたつても電報を打つ様子ぢやないから、僕一人で、今朝打つておいたんだ

父。そうか。

父。松子も戻りたがつてゐたゞろう。こんなに悪いのに、少しも悪い様には言つてやらないんだからさぞ驚ろいたゞろう。然し、松子も、たとへ一寸の間でも、工場から解放されるのは嬉しい事に違ひない

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

父。松子が早く歸つてくればいゝ。

兄。僕にだつてゝ少し早く電報を打つてくれゝば、或ひは靜江をこんなに惡くはさせなかつたゞらう。

父。お前は勉強中だからな、なるべく心配をかけまいと思つてな。

兄。そりや變なお體裁だ。僕なんか、搾られてゐたんぢやないのだぜ！

父。そうか……しかし、この俺もよく子供に馬鹿にされる人間だ。

兄。判らない事を云ふからだ貧乏人だと云つて資本家へさいけんなく、ペン〳〵頭を下げる必要はすでになくなつたのだ。貧乏人が、同じ人間である貧乏人が、こんな不幸な目にあはなくてもすむ社會にやがてなろうと云ふ時だ。だから、我々、……理想社會健設の戰線へ、自ら立たうとする元氣がなくちや、いつまで立つても、人類お互の幸福は求められないのだ……。

父。おや

——父、耳をかしげる、沈默。聲——

聲。電報、電報！

父。電報が來た樣だ

——父出て行く——

父。松子が戻ると云ふんだな……………

——父戻つてくる——

兄。ヤツ……(驚愕、讀む、身震する——)

——少時沈默——

父。何だ。松子が戻ると云ふ電報ぢやないのか？

兄。おい、松子が死んでしまつた！。松子が死んだと云ふ電報だ！

父。エツ！。ど、どうした、松子が死んだ？

兄。あゝ。俺はどうすればいゝのか。機械に卷き込まれて了つたんだ。

(歩き廻る)

父。おい、何かの間違ひぢやないのか。電報が違つてゐるのぢやないのか。

兄。駄目だ……松子は死んだのだ。殺されたのだ……

父。馬鹿！郵便局が間違えたのだ。松子が死んだとは信ぜられ樣がない

兄。電報が違ふものか。こんな事はあり得る事だ。いや、工場が人を殺す事ば珍らしい事ぢやないのだ。病氣にさして、間接に殺したり、機械に卷かして、直接殺したりする事は、工場では當り前なのだ。松子も遂々その犧牲者の一人になつたんだ。殺されたんだ！

父。……………。

兄。然し、これも、現在の不當な社會組織ぢや仕方のない事だ。現在の法律では、これでも殺人罪にはならないのだ。殺人罪どころか、工場の設備の惡い事は棚にあげて。本人の注意が足りない等と云つて却つて笑はれるんだ。工場の仕事の設備はどうでもいゝ、それでも工場の立場は立派なんだ。

父。(尙、自信を持つ樣に)松子が死ぬるものか。その電報をかせ！郵便局へ行つてくる。

兄。どこが間違つてゐるんだ。松子が戻ると云ふ電報なら、松子自身が打つ筈だ。それに、この電報は、工場の名儀で打つてあるぢやないか、ヤマダマツコゴゼン八ジキカイニマカレソクシス、スグコイ、

××コウバ……………××コウバ……………

些とも間違つちやいない、おそらく松子は、既に、この世の人間ぢやないのだ。

父。…………(顏を蒼白にして身震ひする)

兄。今頃冷たい松子の死かばねが、あの工場のかたすみの、塵埃の中で待つてるだらう可哀そうな短かい人生だつたけれども、ふん、何と云ふ恐ろしい世の中だことか………

——兄、無理に平然として電報を操り返して讀む。然し、だん〳〵内心の恐怖に堪え切れない樣に、其の聲を震へ、顏色は蒼白となつてくる。やがて、頭をかきむしり、室内を歩き廻る。

父、卒倒する。

靜江、驚ろいて起き上つたが、支える力に堪えないですぐ、がくりと倒れる

兄。あツ、靜江も死んだのぢやないか

——兄、かけよる。伺ふ。兄の吐息。怖ろしい重い沈默——

幕。

× × × × × × × × ×

婦人良薬

喜谷實母散

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗
東京京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門
電話京橋五五五番 五六番

金 銀
白 金

徳力本店
東京市神田區松田町

消化素
口香料

仁丹

四博士責任剤
ポケット必携

◇精工舎時計◇

歐米時計類
眼鏡双眼鏡
測量諸器械
プラチナ地金
ダイヤモンド
記念盃徽章
寶石指環類
各種装身具

服部時計店

東京銀座二丁目

明日ミ云はれす
今直ぐに

大同生命

大阪土佐堀

日本勞農黨機關新聞
半月刊

日本勞農新聞

一部五錢
一年一圓

東京芝公園五號地四番
日本勞農黨本部

農民解放戰鬪雜誌
月刊

農民

一部拾五錢
送料二錢

東京市外大井町
南濱川一八九〇
農民社

在日本鮮人機關
月刊

新朝鮮

一部拾錢
一年一圓

東京麴町區麴町九の九
新朝鮮社
振替東京四〇五九九番

プロ文藝號
三月創刊

展望

一部二拾錢
送料二錢

藝術と政治の混同（鈴木厚）
婦人と文藝の問題（神近市子）
階級藝術類別の要件（鈴木厚）
屋根裏の感想（神近市子）
或る漁村のスケッチ（富永義一郎）

東京市外駒澤町上馬五八九
展望社

左翼文藝思想雜誌
月刊

文藝鬪爭

一部二拾錢
送料二錢

（野獸群改題）

東京麴町區麴町九ノ九
文藝鬪爭社

中國無産階級言論機關
週刊

中國評論

一部五錢
一ケ月廿錢

呉市外天應
中國評論社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和二年三月一日發行
同年二月廿五日印刷納本
第五年第三號
每月一回一日發行
定價 一部十錢(税五厘) 半年六十錢 一年一圓(税共)
廣告料 [illegible]一圓 一頁三百圓
發行所 東京市外大井町鈴ヶ森海岸一八九〇(振替東京六九八五二) 進め社本部
發行編輯兼印刷人 福田狂二
大阪市東淀川十三[illegible]之町 大阪[illegible]所

大阪日本橋……實用百貨……名古屋

松坂屋呉服店

東京銀座……良品廉賣……上野

絶えず品質を精選し、價格は低廉に趣味と實用を標語として、常に社會の趨勢に鑑み、時勢に適應して改善に改善を加へつゝ、不斷の努力を續けてをります。當店は店内の諸施設、店員のサービスに於ても萬全を期し、只管華客各位の御滿足と御愉快を以て直ちに當店の喜びと致して居ます。

地方よりの御注文は通信販賣部宛に願ひます。尚その御手引として御便利なる當店發行の「三越カレンダー」は御申込次第御送付申し上げます。

大阪市 三越呉服店 高麗橋

日本麥酒礦泉株式會社

幸福と平和の殿堂

本社 東京丸之内
社長 沙田龍一

御申越次第保險案内進呈

日清生命

代表電話牛込五千百〇六番
振替口座東京九千三百十番

支社 東京・關東・大阪・京都・福岡・名古屋・仙臺・廣島・金澤・札幌・京城・臺北